

令和元年度 尾張旭市営バス利用状況報告書



令和2年8月
都市整備部都市計画課

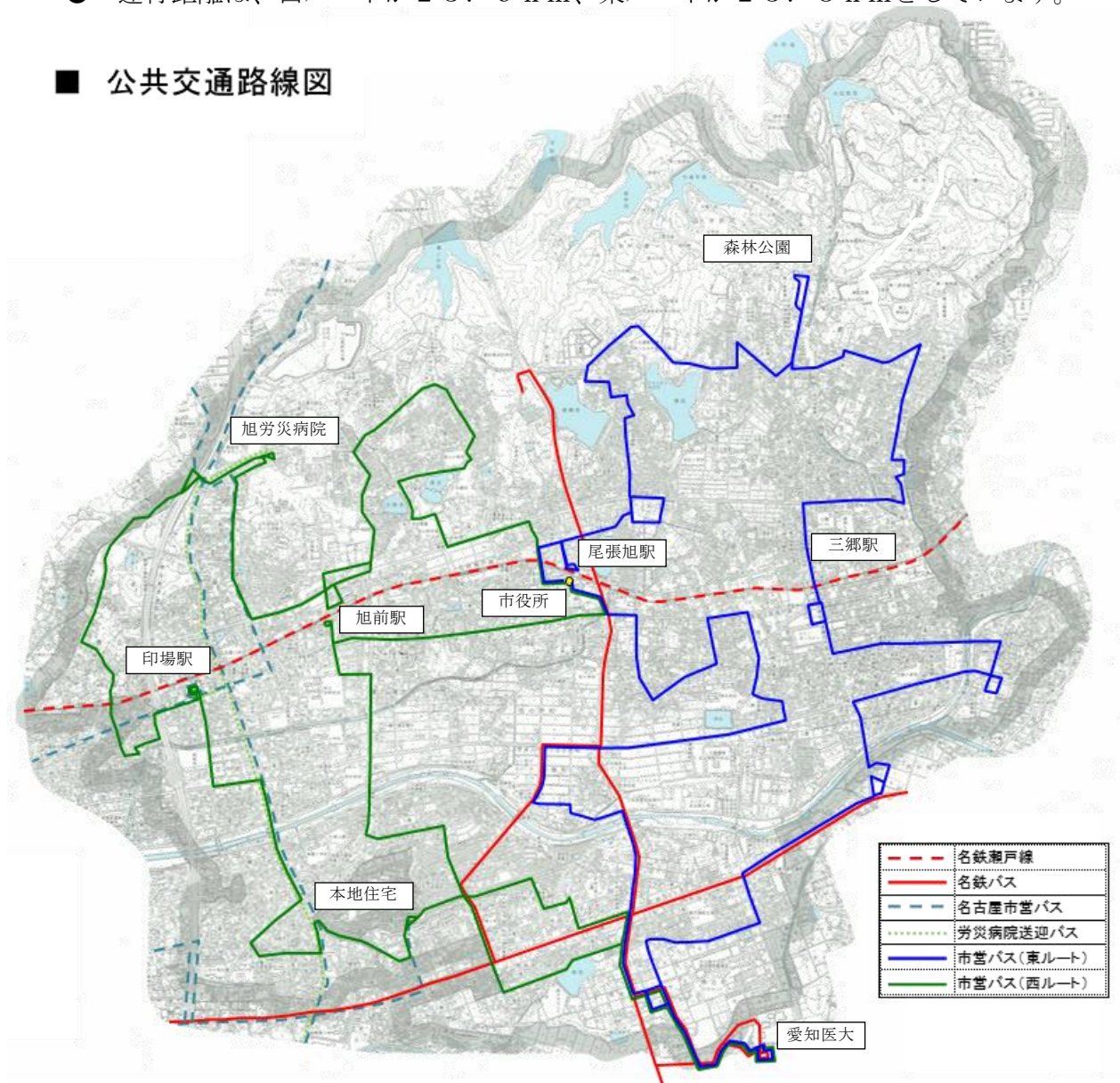
目 次

1	市営バスの概要	1
2	市営バス運行の経緯	2
(1)	試験運行開始前	2
(2)	試験運行の実施	3
(3)	本格運行の実施	3
(4)	運行見直しの検討、運行内容変更	3
3	市営バスの利用状況	5
(1)	利用者の推移及び内訳	5
(2)	ルート別利用者数の状況	6
(3)	運行便別利用者の割合（全体）	7
(4)	運行便別利用者数の状況（ルート別）	8
(5)	停留所別利用者数の状況	11
(6)	ルート別の停留所利用の状況	20
(7)	平日第1便の平均乗車人員の状況	24
(8)	曜日別平均利用者数の状況	27
4	市営バスの運行経費の状況	28
(1)	市営バスの運行経費の状況	28
(2)	近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況	29
5	市営バス運行に対する市民意識	31
	令和元年度利用者アンケート調査集計結果	34

1 市営バスの概要（～R2. 3. 31）

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの、1年間の西ルート（マイクロバス3台 定員22人）及び東ルート（マイクロバス3台 定員26人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。また、11枚綴り1,000円の回数乗車券及び1か月3,000円の定期乗車券があります。
- 運行日は、年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日としています。また、平日は運行時間を8時10分から19時10分までとし、1日9便、休日（土日祝日）は運行時間を9時10分から17時40分までとし、1日5便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.9km、東ルートが23.8kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

▽ 平成10年度

市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問。

▽ 平成11年度

巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出。

▽ 平成12年度

交通問題対策特別委員会の設置。

イ 平成15年度

▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催。

▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施。

▽ 協議会からの主な提言

・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること。

・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること。

・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること。

・通勤通学者を考えると、運行時間が早朝から夜までになり、運行経費もかかる。まず、第1歩を始めることが重要という観点から、「元気で歩けるお年寄り」などを対象に、1人で活動可能な人の交通手段を考えること。

ウ 平成16年度

▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催。

▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認。

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に対する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさぴ一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更し、4台の車両のデザインを統一。

ウ 平成24年4月1日～

名鉄瀬戸線旭前駅の駅前広場整備に伴い、西ルートを一部変更し、名鉄瀬戸線北側から旭前駅へ乗り入れを実施。

(4) 運行見直しの検討、運行内容変更

ア 平成26年4月1日～平成27年3月31日

市営バスをとりまく環境の変化、市民からの新たな要望（運行頻度の向上や日祝日運行等）及び車両の老朽化を踏まえ、運行見直しの検討を実施。

その結果、市営バスが市民生活における重要な移動手段として定着していることから、現行の運行ルートを基本とした見直しを行うこととした。

イ 平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成26年度の検討結果を踏まえた、新たな運行ルート及び停留所位置を検討し、それに基づく運行ダイヤ及び運行経費を検討。また、利便性向上によるバス利用促進を図るため、定期券等の導入を検討。

ウ 平成28年4月1日～平成28年12月28日

運行見直しの検討結果を踏まえ、運行内容を次のとおり変更。

▽ 運行日：新たに日曜日、祝日を運行(運休日：年末年始(12/29～1/3)のみ)

▽ 運行本数：平日は1日9便、休日(土日祝日)は5便

- ・ 平日：運行間隔は60分に1本、8時15分～19時05分
- ・ 休日：運行間隔は100分に1本、9時20分～17時20分

▽ 運賃 運賃や回数乗車券はそのままに、新たに定期乗車券を導入

- ・ 定期乗車券：1か月3,000円

▽ 主な新規乗入れ先

- ・ 西ルート：本地住宅(名古屋市営バスターミナル内に移設)
愛知医大(停留所は東ルートと共通)
- ・ 東ルート：森林公園(園内に停留所を新設)
多世代交流館(交流館近くに停留所を新設)

▽ 運行距離

- ・ 西ルート：24.5km 東ルート：24.4km

▽ 車両

車両を増車し、西ルート3台、東ルート3台 計6台で運行

- ・ 購入する車両(4台)は現行と同車種で、デザインを一新

エ 平成29年1月4日～

運行内容見直し後、平日ダイヤの遅延運行が頻発し、利用者からの問合せや苦情が多発したことから、遅延調査を実施。遅延の実態を把握したうえで、その実態に即し、平日においては、運行間隔を「60分に1本、8時15分～19時05分」から「60～70分程度に1本、8時10分～19時10分」とするようダイヤ改正を実施。

その結果、平日に遅延運行が9割減少し、利用者からの問い合わせも減少。

オ 平成29年4月1日～

愛知医科大学病院バスロータリー完成により乗り入れを開始。これにより運行距離が短縮(西ルート：23.9km 東ルート：23.8km)

バスロータリーに名鉄バスや長久手市、瀬戸市が運行するコミュニティバスが乗り入れていることから、乗り継ぎ利便性が向上。

カ 令和元年10月1日～

平成28年度の見直し後の利用状況や要望等を踏まえ、次のとおりダイヤ改正等を実施。

▽遅延解消のため、休日のダイヤを改正するとともに平日のダイヤを微調整。

▽利便性向上のため、「本地ヶ原」、「稲葉町南」停留所を新たに設置。

3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移及び内訳

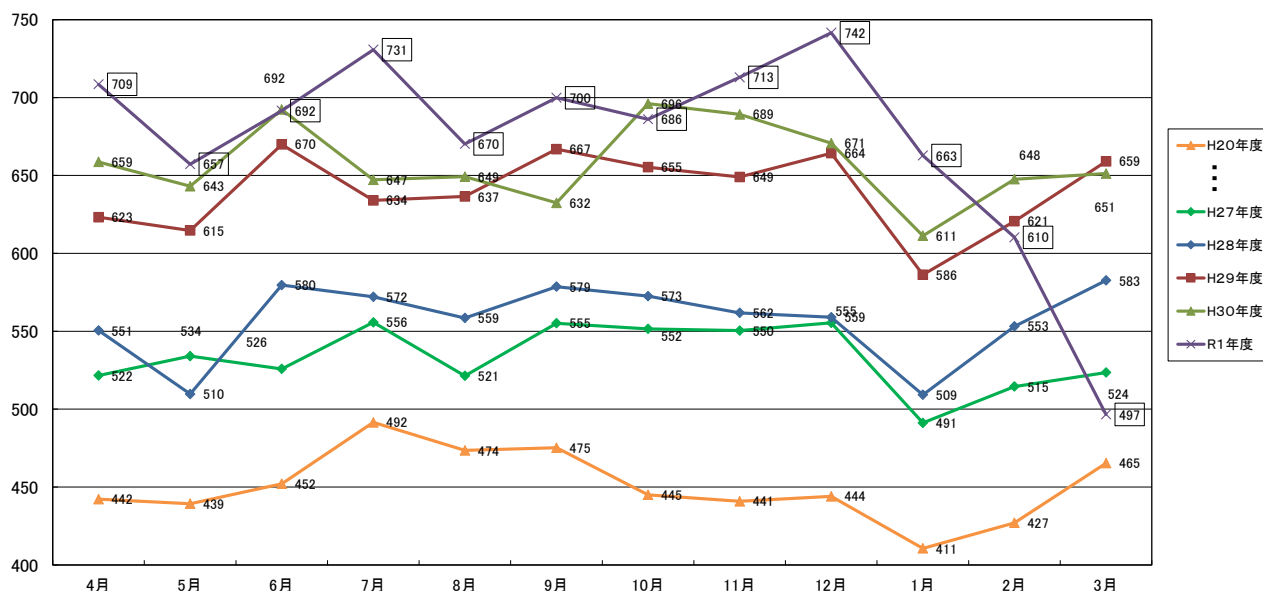
○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり平均利用者数	有料利用者	無料利用者			
				未就学	障がい者	介助者	合計
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108	586
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360	3,042
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237	2,729
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310	4,049
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712	12,735
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161	17,262
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270	19,193
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825	23,706
平成24年度	148,868	506.4	122,785	3,464	20,616	2,003	26,083
平成25年度	153,553	520.5	124,102	3,015	24,562	1,874	29,451
平成26年度	152,693	519.4	120,949	3,319	26,496	1,929	31,744
平成27年度	157,319	533.3	124,670	4,043	26,569	2,037	32,649
平成28年度	200,168	557.6	162,040	4,436	30,192	3,500	38,128
平成29年度	229,849	640.2	187,204	4,205	34,472	3,968	42,645
平成30年度	236,096	657.6	190,143	4,351	37,911	3,691	45,953
令和元年度	241,878	671.9	194,004	3,281	41,393	3,200	47,874

- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行
- ※ 28年度から運行内容変更（運行頻度向上、日祝日運行、定期乗車券導入、2台増車して6台で運行）

○ 1日あたり平均利用者数の推移



(2) ルート別利用者数の状況

例年冬季（1～2月）の間は、気温等を要因とする自然減と思われる利用者数の落ち込みがありますが、今年度の2月、3月は新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の影響に伴う大幅な落ち込みがありました。しかし、新型コロナによる影響が出る前までの利用者数は毎月2万人を上回っていました。なお、1日あたりの平均利用者数が最も多い月は7月でした。

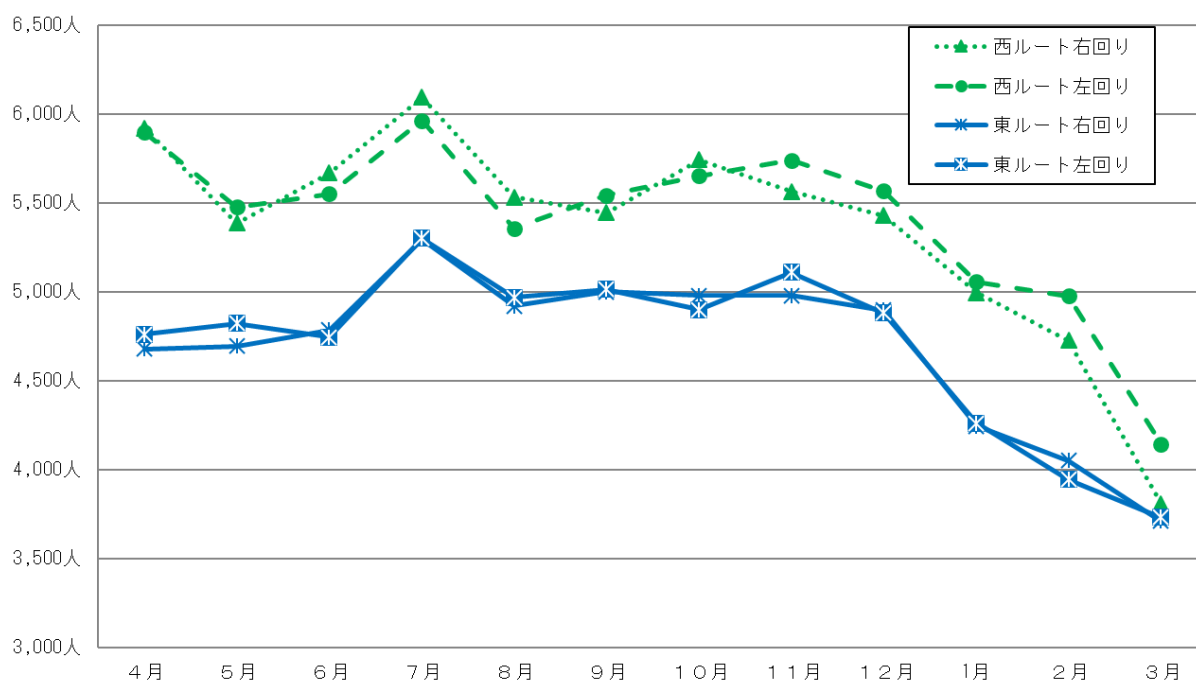
路線別で見ますと、全体では、各月の利用者数増減は同じような傾向があり、2月以降は新型コロナの影響により、利用が減少しています。ルート別では、西ルートで1月まで1か月の利用者が1万人を超えており、東ルートでも7月、9月及び11月と1万人以上の利用者がいました。2月以降については、西ルートの方が東ルートよりも大きく利用者が減少しました。

○ 路線別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計	1日あたり 平均利用者数
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計		
4月(30日間)	5,919	5,896	11,815	4,678	4,761	9,439	21,254	708
5月(31日間)	5,384	5,475	10,859	4,694	4,821	9,515	20,374	657
6月(30日間)	5,667	5,550	11,217	4,785	4,745	9,530	20,747	692
7月(31日間)	6,093	5,962	12,055	5,296	5,300	10,596	22,651	731
8月(31日間)	5,532	5,356	10,888	4,920	4,969	9,889	20,777	670
9月(30日間)	5,445	5,541	10,986	4,999	5,013	10,012	20,998	700
10月(31日間)	5,741	5,651	11,392	4,979	4,898	9,877	21,269	686
11月(30日間)	5,564	5,739	11,303	4,979	5,109	10,088	21,391	713
12月(28日間)	5,427	5,565	10,992	4,895	4,879	9,774	20,766	742
1月(28日間)	4,995	5,056	10,051	4,246	4,260	8,506	18,557	663
2月(29日間)	4,727	4,977	9,704	4,050	3,945	7,995	17,699	610
3月(31日間)	3,809	4,143	7,952	3,710	3,733	7,443	15,395	497
合計(360日間)	64,303	64,911	129,214	56,231	56,433	112,664	241,878	672

※（ ）内は運行日数

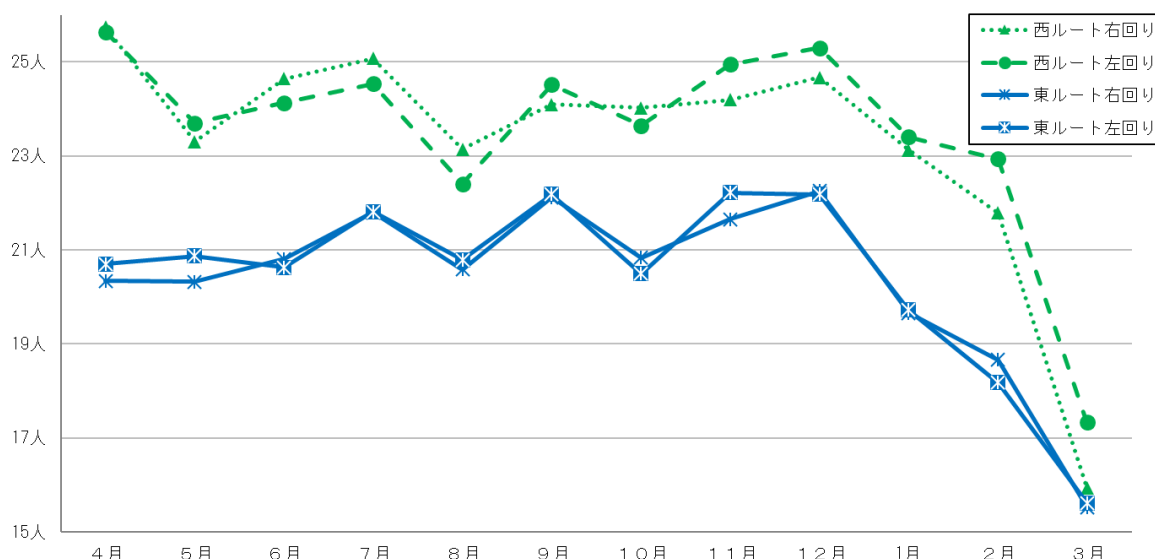


○ 1便あたりの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		令和元年度 (全体)	平成30年度 (全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	25.7	25.6	20.3	20.7	23.1	21.5
5月	23.3	23.7	20.3	20.9	22.0	20.9
6月	24.6	24.1	20.8	20.6	22.6	22.2
7月	25.1	24.5	21.8	21.8	23.3	21.0
8月	23.1	22.4	20.6	20.8	21.7	20.4
9月	24.1	24.5	22.1	22.2	23.2	21.4
10月	24.0	23.6	20.8	20.5	22.2	22.2
11月	24.2	25.0	21.6	22.2	23.3	22.1
12月	24.7	25.3	22.3	22.2	23.6	21.7
1月	23.1	23.4	19.7	19.7	21.5	19.8
2月	21.8	22.9	18.7	18.2	20.4	21.0
3月	15.9	17.3	15.5	15.6	16.1	21.5
年間	23.3	23.5	20.4	20.4	21.9	21.3

※ 土・休日を含む。



(3) 運行便別利用者の割合 (全体)

令和元年(平成31年)4月から令和2年3月までの間における、西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用者の割合は、次のとおりとなりました。

各ルートとも第1、2便の利用者数が多くなっています。なお、第6便以降、時間帯が遅くなるにつれて利用が少なくなる状況にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便 (8:10~8:40)	18.6%	20.2%	17.5%	14.6%
第2便 (9:20~10:00)	17.2%	15.7%	17.8%	16.6%
第3便 (10:30~11:00)	13.8%	14.9%	16.1%	15.6%
第4便 (11:40~12:10)	12.5%	13.5%	13.8%	14.9%
第5便 (12:40~13:20)	11.0%	10.0%	10.5%	11.4%
第6便 (13:50~14:20)	7.4%	7.8%	7.8%	7.9%
第7便 (15:00~15:30)	8.1%	8.0%	7.5%	7.3%
第8便 (16:00~16:40)	6.9%	5.7%	5.4%	7.7%
第9便 (17:10~17:40)	4.4%	4.2%	3.6%	3.9%

(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

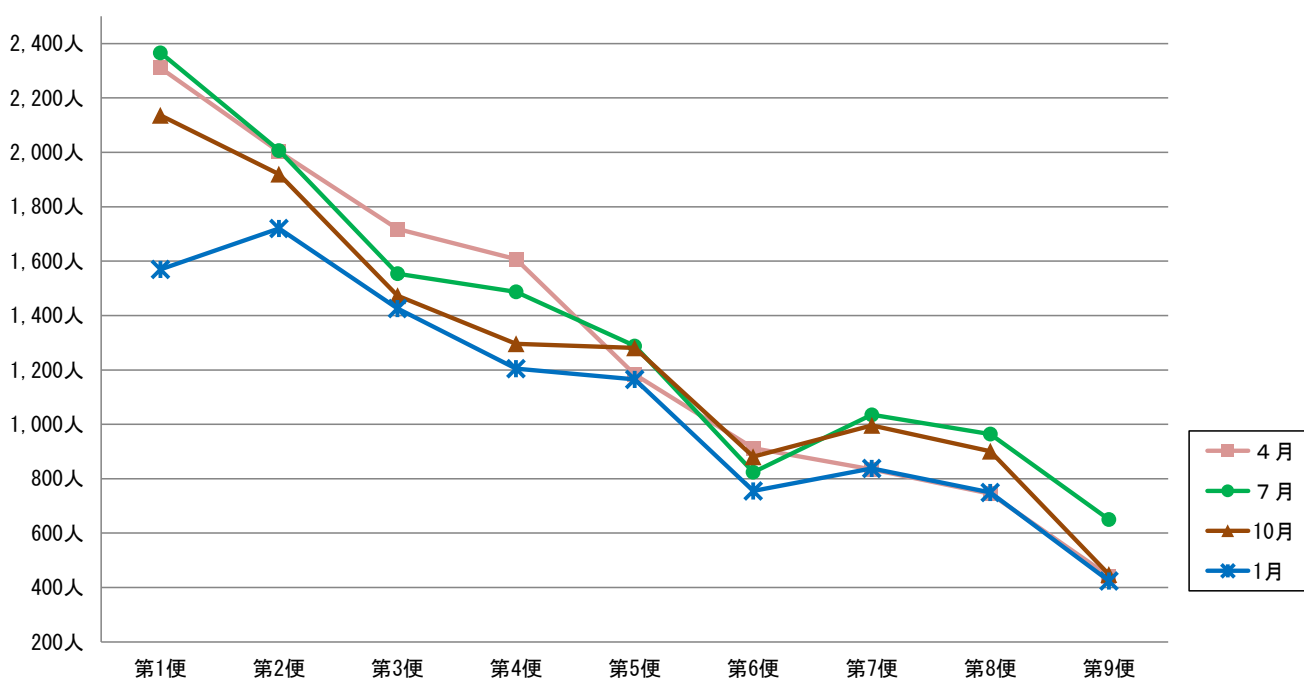
令和元年（平成31年）4月、7月、10月及び令和2年1月における、西ルート及び東ルートの1月あたりの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第1便と第2便の利用者数が最も多く、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第1～2便は目的地に向かうため、第3～5便は帰宅のために利用していると考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数

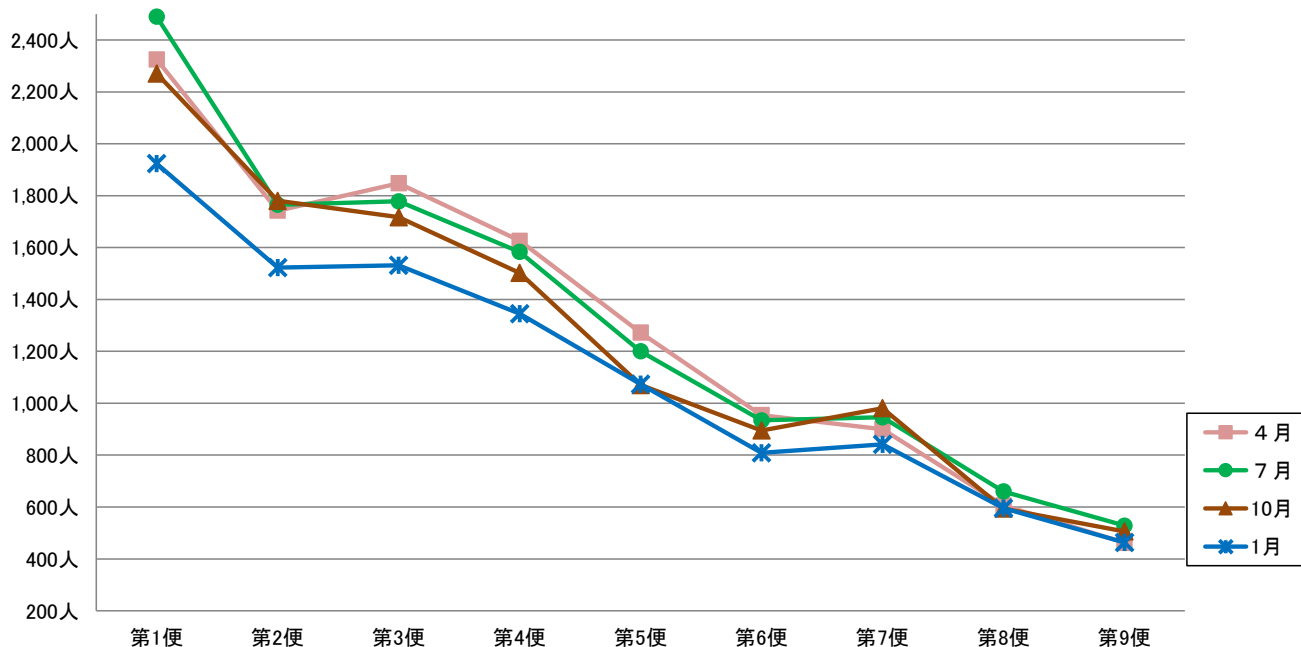


イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第1便の利用者数が最も多く、「右回り」と同様に、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

第1便の利用者数が一番多い理由として、病院への外来（旭労災病院）や商業施設の開店時間などが要因の一つであると考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数

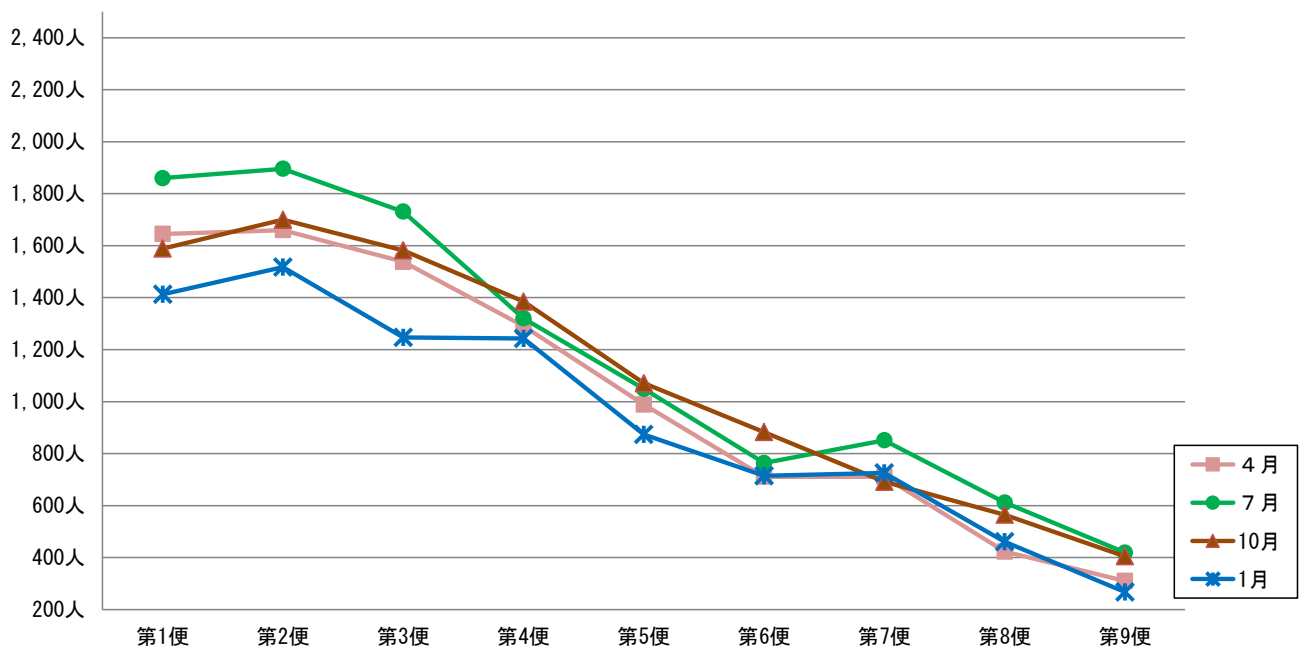


ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、各月とも第1便から第3便の利用者数が多い傾向が見られます。また、他のルートと比べて第7便の利用者数が多くなっています。

この第1～3便及び第7便では「市役所」「愛知医大」のほか、多数のイトーヨーカドーの利用者が「イトーヨーカドー前」停留所で乗降していることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数

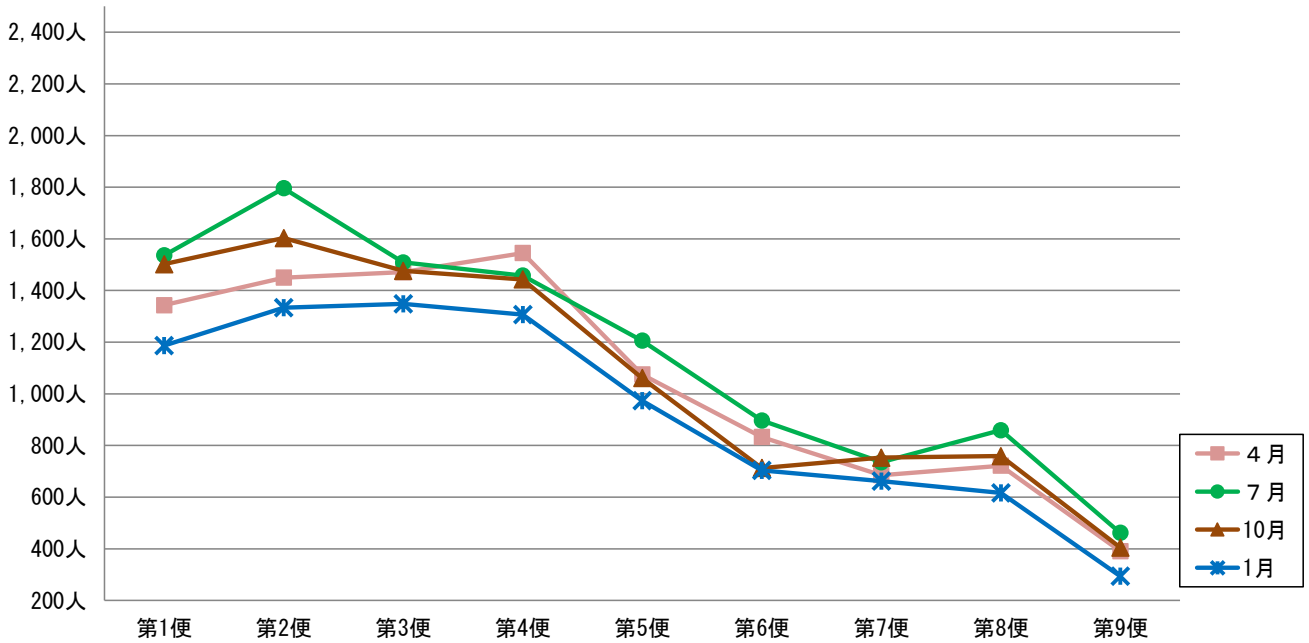


エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）は、各月とも第1～4便の利用者数が多く、特に他のルートと比べて、第1便よりも第2便の利用者数が多くなっています。

第2便の利用者が一番多い理由として、イトーヨーカドーやアカバネへ買い物のために出かける利用者によるものと考えられます。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



(5) 停留所別利用者数の状況

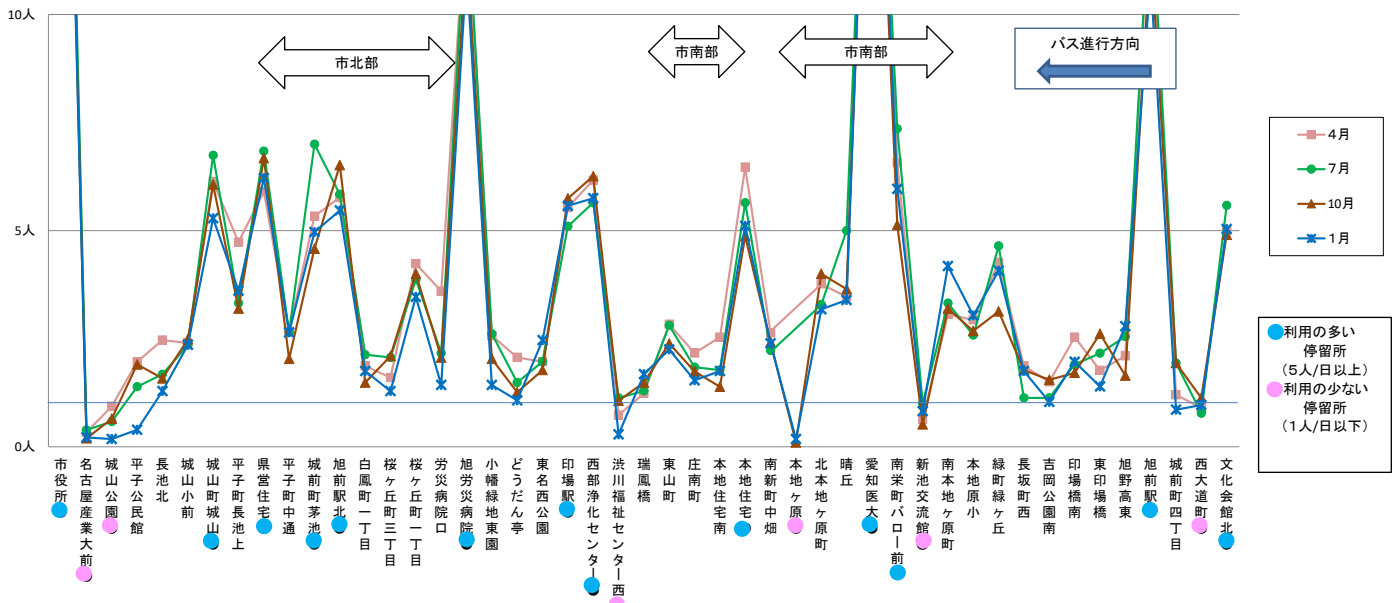
令和元年（平成31年）4月、7月、10月及び令和2年1月における、西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）【乗車】

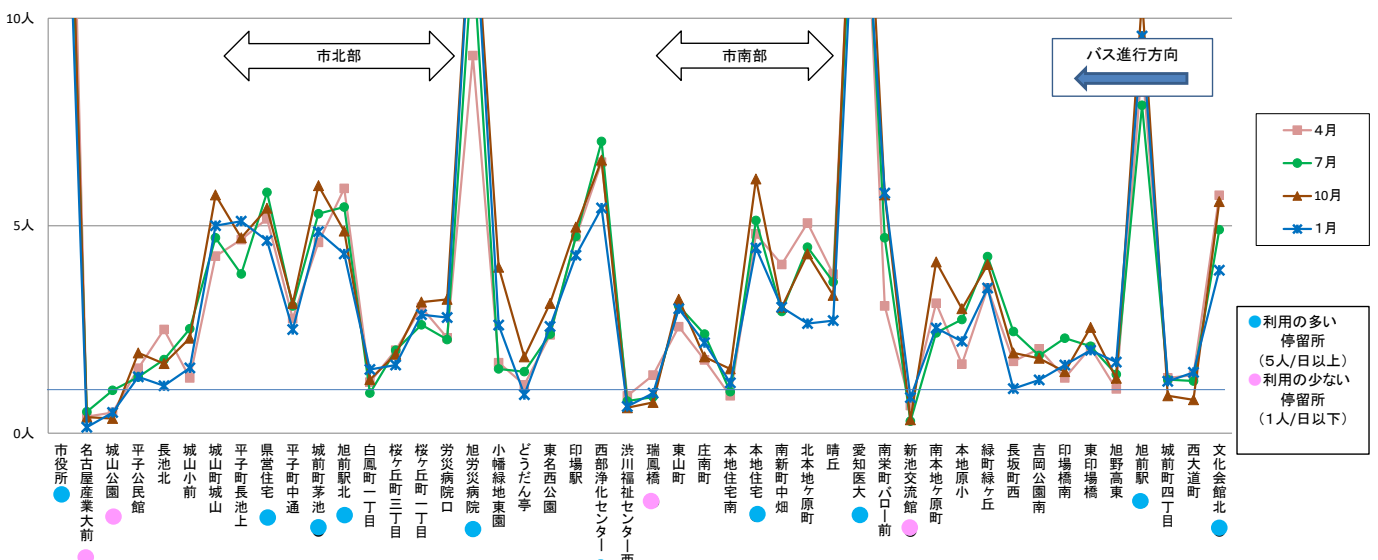
乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「県営住宅」「城前町茅池」「旭前駅北」「旭労災病院」「印場駅」「西部浄化センター」「本地住宅」「愛知医大」「南栄町パロー前」「旭前駅」「文化会館北」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「愛知医大」の利用が特に多い状況です。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「渋川福祉センター西」「本地ヶ原」「新池交流館」「西大道町」となっています。

月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られませんが、市南部での利用数が少ない傾向にあります。



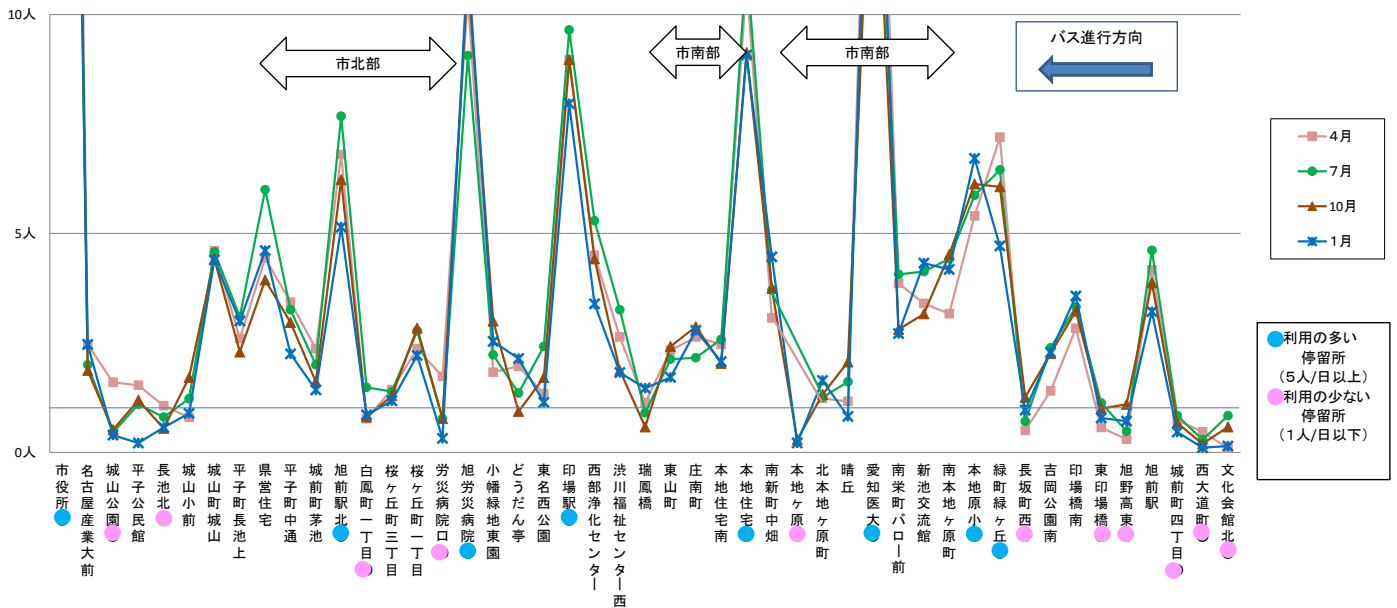
参考 平成30年度西ルート右回り利用状況【乗車】



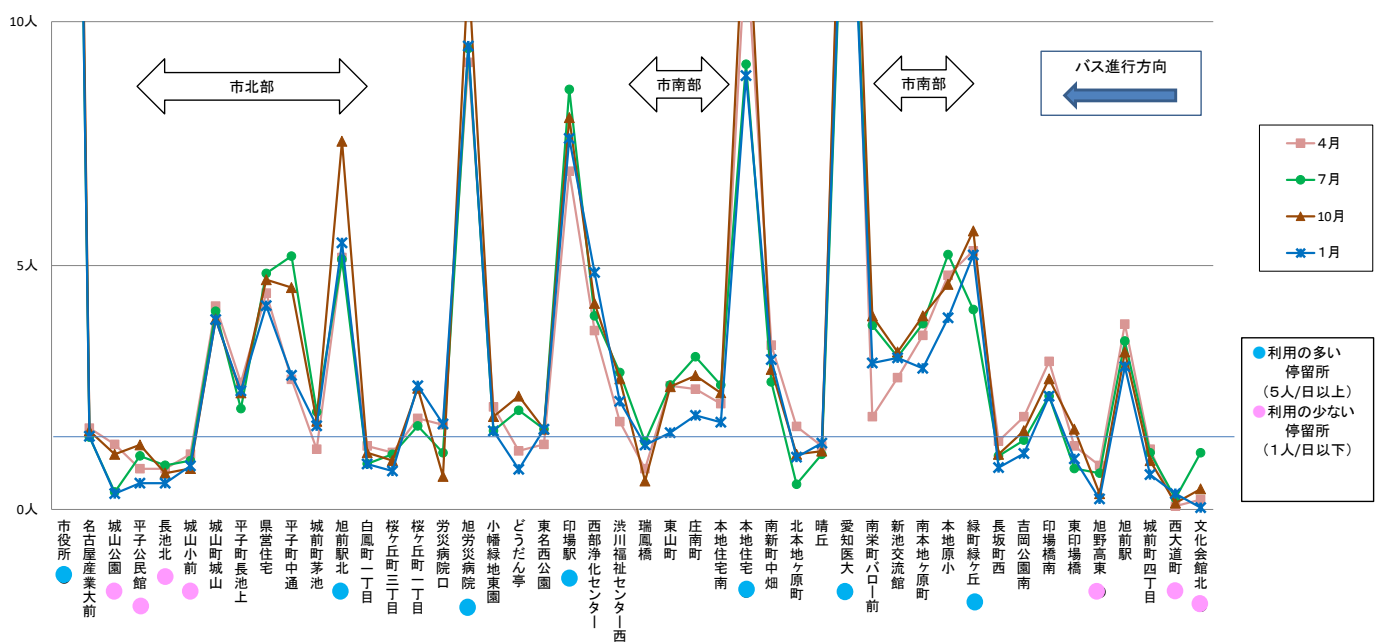
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭前駅北」「旭労災病院」「印場駅」「本地住宅」「愛知医大」「本地原小」「緑町緑ヶ丘」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「市役所」「本地住宅」での降車が多く、乗り継ぎとして利用されています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「城山公園」「長池北」「白鳳町一丁目」「労災病院口」「本地ヶ原」「長坂町西」「東印場橋」「旭野高東」「城前町四丁目」「西大道町」「文化会館北」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



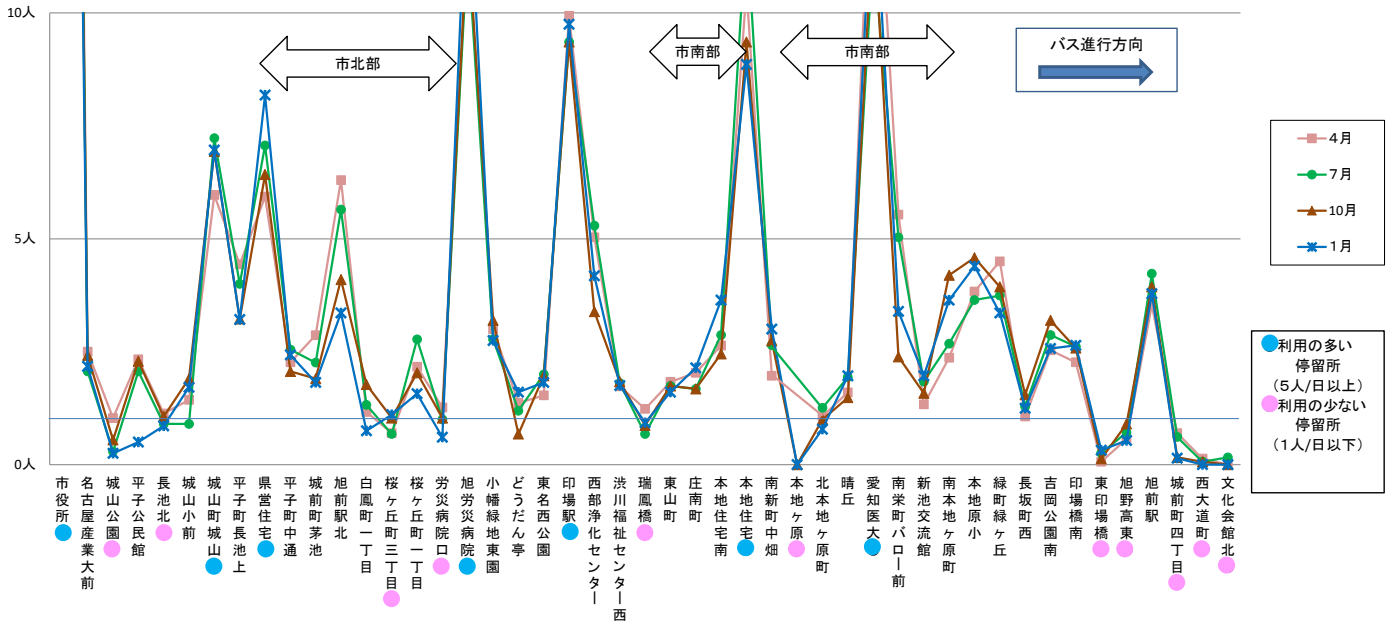
参考 平成30年度西ルート右回り利用状況【降車】



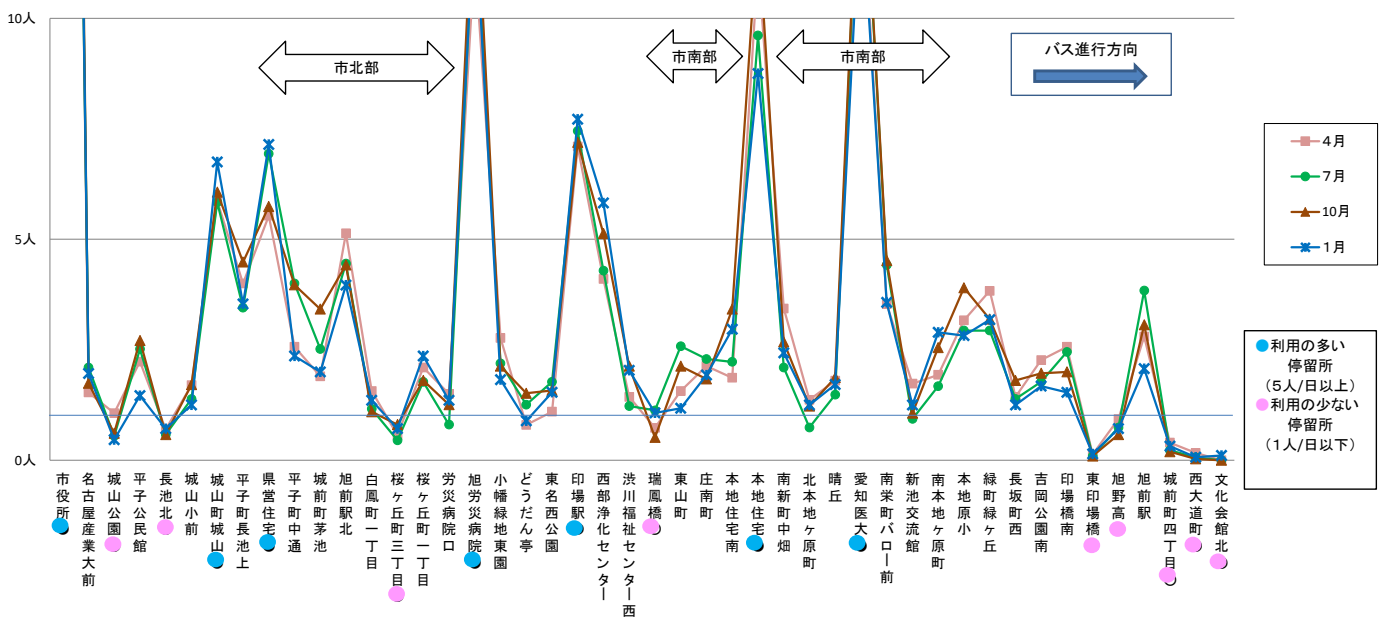
ウ 西ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「県営住宅」「旭労災病院」「印場駅」「本地住宅」「愛知医大」となっており、「右回り」と比較し、市北部の住宅地での利用数がやや少なく、「本地住宅」は右回りと同様に乗り継ぎとして利用されている状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「城山公園」「長池北」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「瑞鳳橋」「本地ヶ原」「東印場橋」「旭野高東」「城前町四丁目」「西大道町」「文化会館北」となっています。



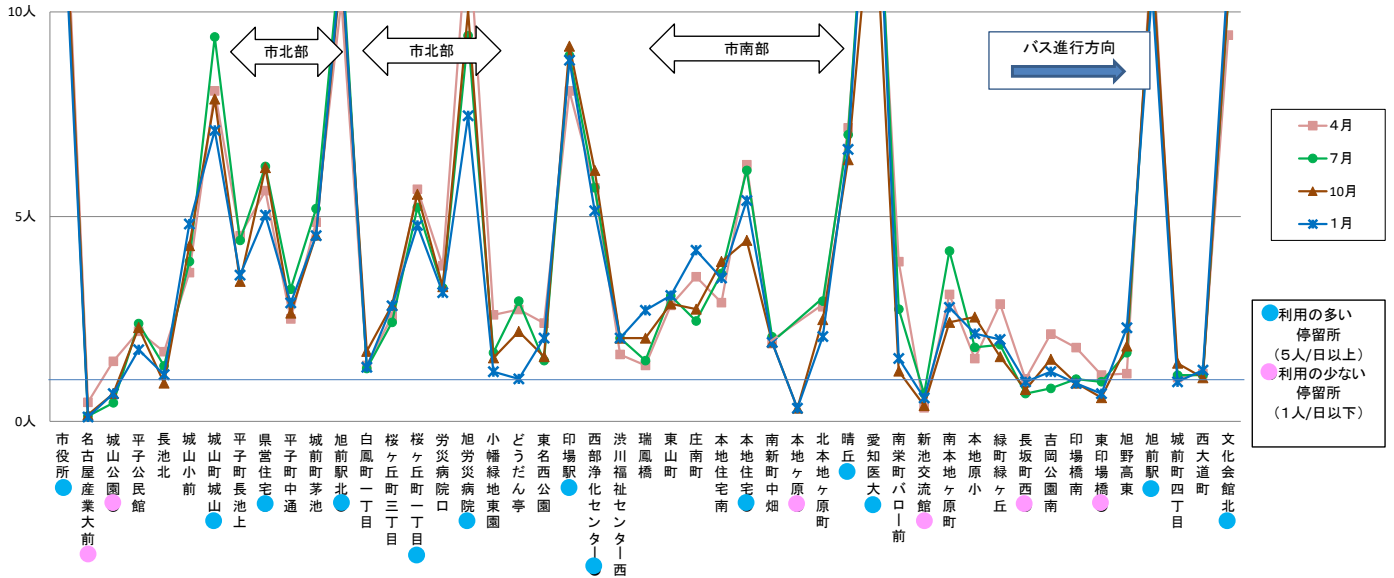
参考 平成30年度西ルート左回り利用状況【乗車】



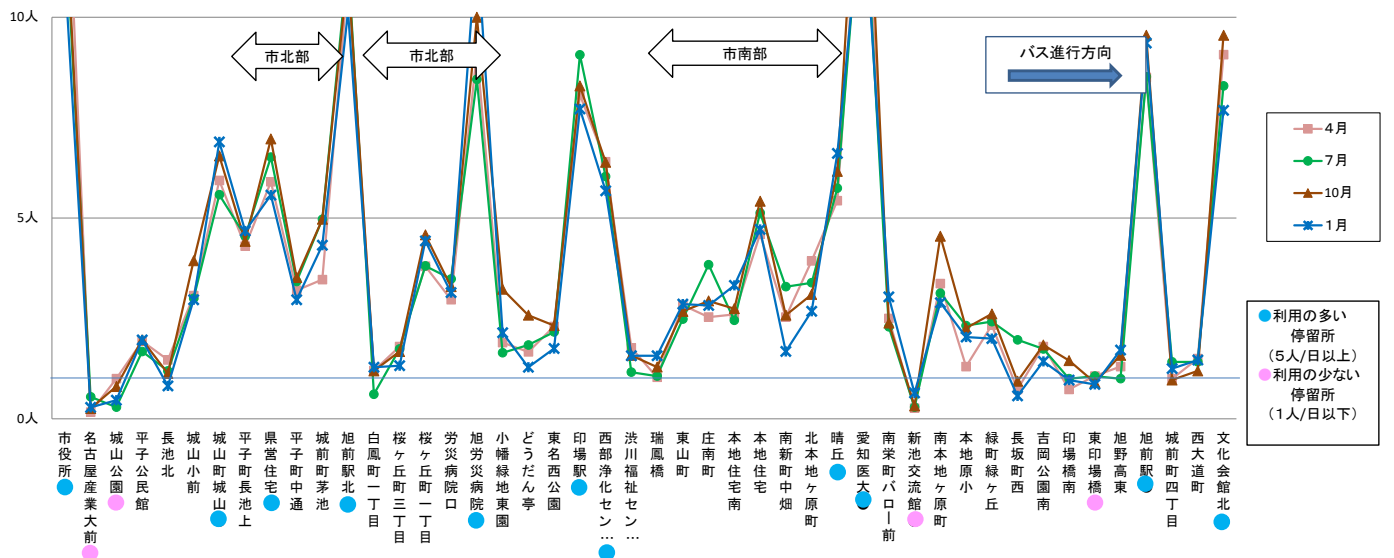
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「県営住宅」「旭前駅北」「桜ヶ丘町一丁目」「旭労災病院」「印場駅」「西部浄化センター」「本地住宅」「晴丘」「愛知医大」「旭前駅」「文化会館北」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「本地ヶ原」「新池交流館」「長坂町西」「東印場橋」となっています。



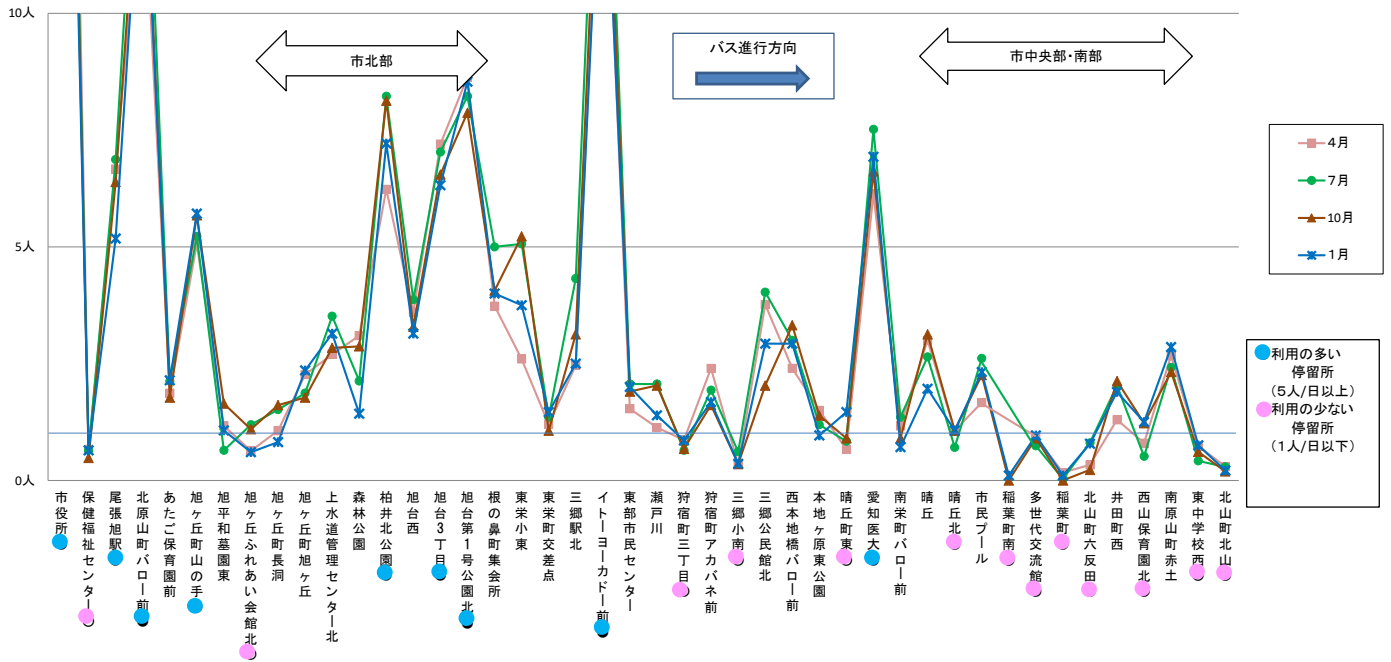
参考 平成30年度西ルート左回り利用状況【降車】



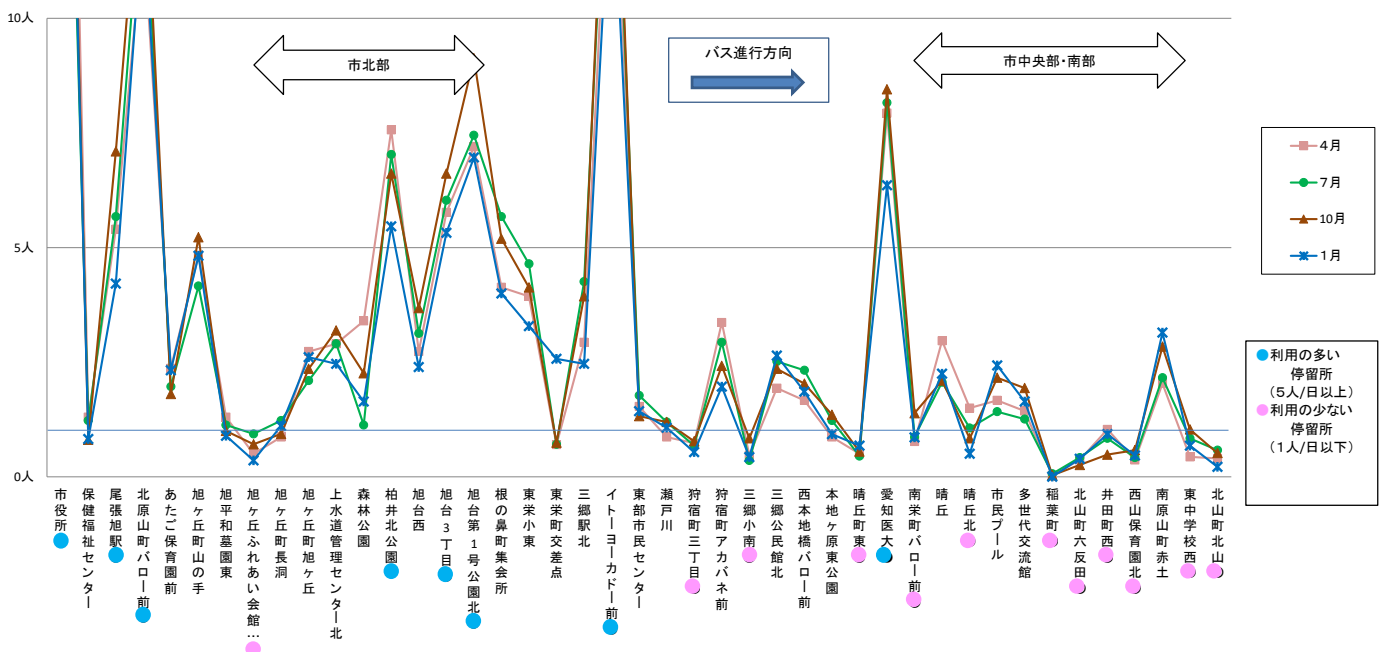
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町パ
ロー前」「旭ヶ丘町山の手」「柏井北公園」「旭台3丁目」「旭台第1号公園
北」「イトーヨーカドー前」「愛知医大」となっており、市北部の住宅地での利
用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「旭ヶ
丘ふれあい会館北」「狩宿町三丁目」「三郷小南」「晴丘町東」「晴丘北」「稲
葉町南」「多世代交流館」「稲葉町」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中
学校西」「北山町北山」となっており、市中央部・南部での利用数が少ない傾向
にあります。



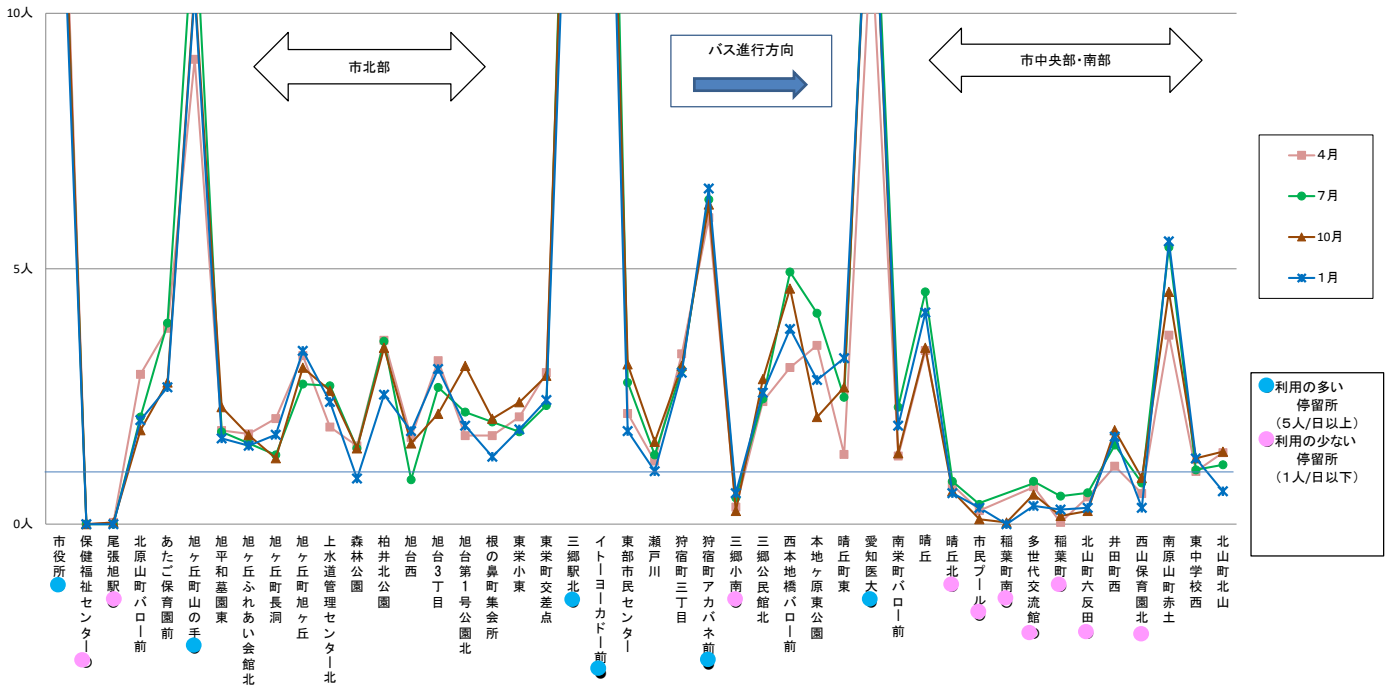
参考 平成30年度東ルート右回り利用状況【乗車】



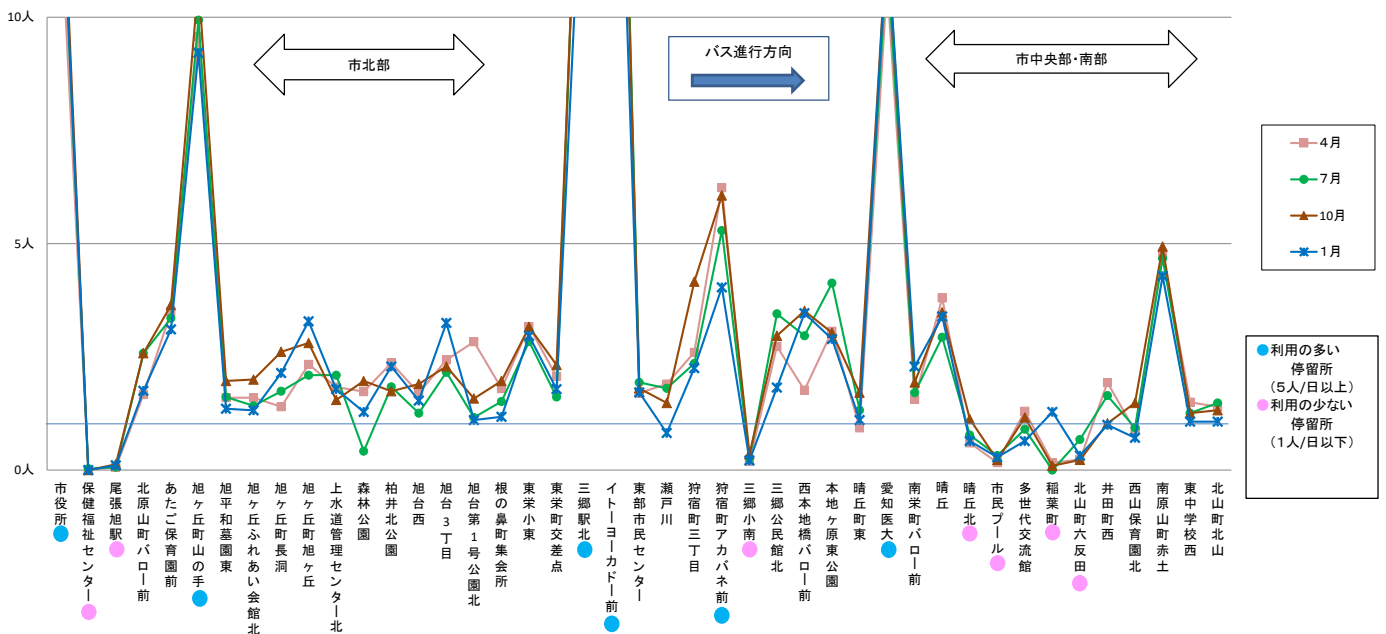
カ 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」「狩宿町アカバネ前」「愛知医大」となっており、特に「イトーヨーカドー前」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「三郷小南」「晴丘北」「市民プール」「稲葉町南」「多世代交流館」「稲葉町」「北山町六反田」「西山保育園北」となっており、乗車と同様、市中央部・南部での利用数が少ない傾向にあります。



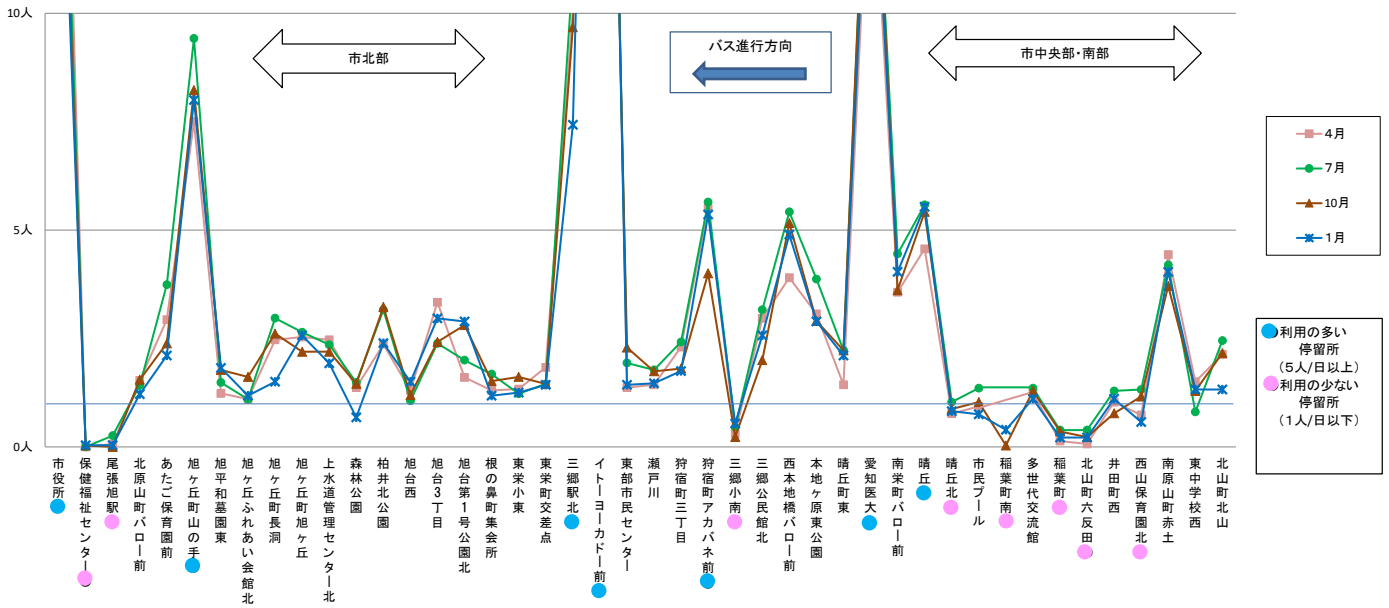
参考 平成30年度東ルート右回り利用状況【降車】



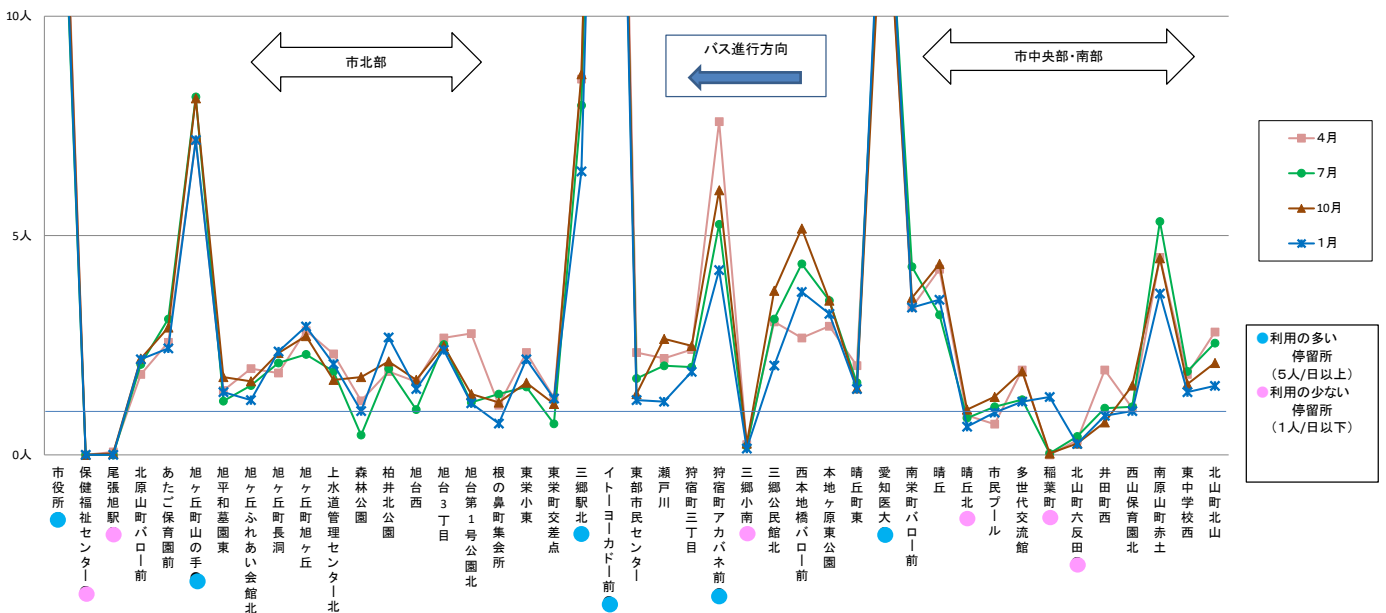
キ 東ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」「狩宿町アカバネ前」「愛知医大」「晴丘」となっており、「右回り」の降車と同様、「イトーヨーカドー前」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「三郷小南」「晴丘北」「稲葉町南」「稲葉町」「北山町六反田」「西山保育園北」となっており、こちらも市中央部・南部での利用数が少ない傾向にあります。



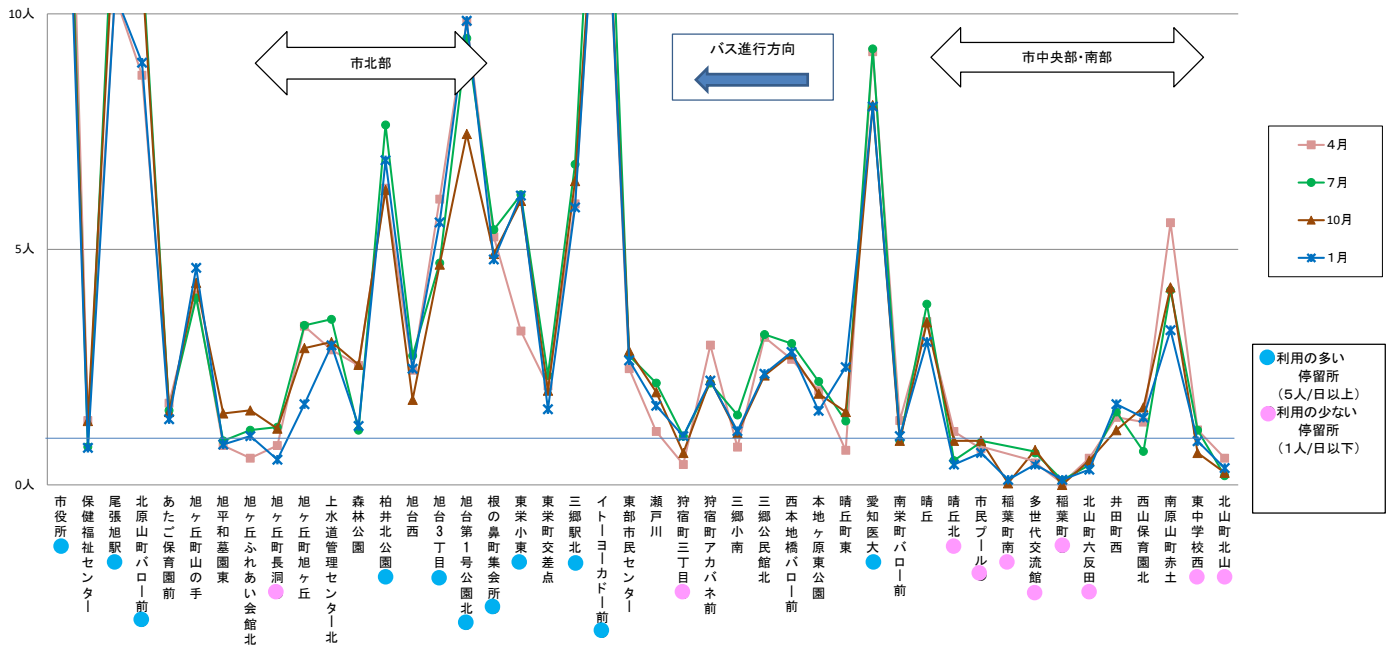
参考 平成30年度東ルート左回り利用状況【乗車】



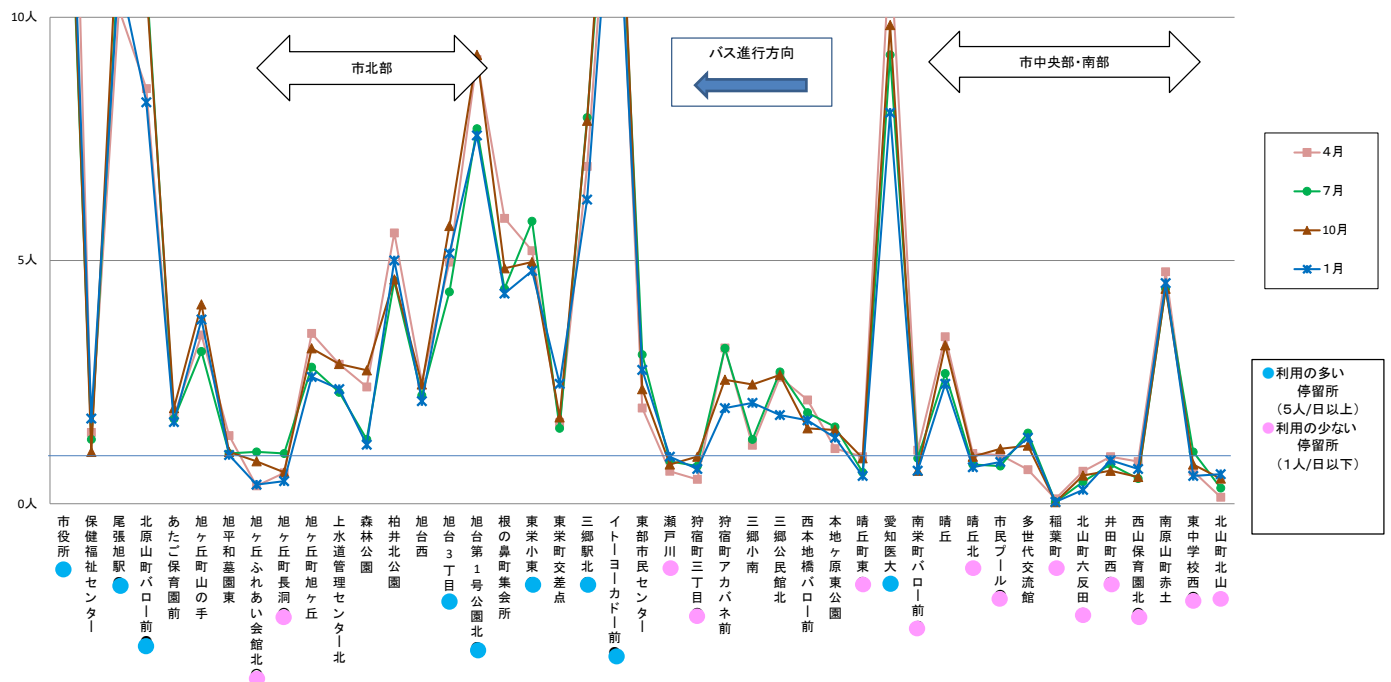
ク 東ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町パロー前」「柏井北公園」「旭台3丁目」「旭台第1号公園北」「根の鼻町集会所」「東栄小東」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」「愛知医大」となっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘町長洞」「狩宿町三丁目」「晴丘北」「市民プール」「稲葉町南」「多世代交流館」「稲葉町」「北山町六反田」「東中学校西」「北山町北山」となっており、やはり市中央部・南部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 平成30年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車ともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

平成30年4月～平成31年3月の利用状況と令和元年（平成31年）4月～令和2年3月までの利用状況を比較すると、全体で利用者数が増えていることから、グラフ全体が若干ですが底上げされています。

停留所別ではグラフの形状がほとんど同じであり、バス利用者の移動実態に大きな変動がないと考えられます。なお、「本地ヶ原」「稲葉町南」停留所は令和元年10月に新しく設置されたばかりでデータが不十分のため、今後の利用者の動向を記録していきます。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地に加え、南本地ヶ原、緑町緑ヶ丘、本地住宅といった南部での利用が多いのに対し、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地や稲葉町では少数にとどまっています。

市北部及び南部の住宅地から鉄道駅や商業施設のある市中央部へ向かうためあさび一号が利用されていることが分かります。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートの起終点となっており、市役所、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「本地住宅」停留所も利用者が増えております。これは、平成28年度の運行内容変更に合わせて、名古屋市営バス本地ヶ原住宅ターミナル内に停留所を移設したことから、主に藤が丘方面への乗り継ぎとして利用されていることが考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車ともに多く、これらの停留所は、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。特に「愛知医大」は大幅に利用者が増加しており、ダイヤ改正による遅延減少やロータリー乗入れによる利便性向上によるものと考えられます。

▽ イトーヨーカドーの施設内に設置した「イトーヨーカドー前」の利用者数も「右回り」「左回り」とともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

▽ 市中央部の停留所については、西ルートの「西大道町」や東ルートの「稲葉町」のように利用が少ない箇所もありますが、西ルートの「文化会館北」停留所は「右回り」の「乗車」と「左回り」の「降車」の利用が増えています。ここでは、アスカでの買い物のために利用されていると考えられます。

(6) ルート別の停留所利用の状況

令和元年（平成31年）4月から令和2年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	22.4
2	愛知医大	17.9
3	旭前駅	11.2
4	旭労災病院	10.9
5	南栄町バロー前	6.3
6	県営住宅	6.2
7	城山町城山	6.0
8	西部浄化センター	5.9
9	城前町茅池	5.5
10	旭前駅北	5.3
11	印場駅	5.1
12	本地住宅	5.1
13	文化会館北	4.8
14	桜ヶ丘町一丁目	3.7
15	晴丘	3.7
16	緑町緑ヶ丘	3.6
17	平子町長池上	3.5
18	北本地ヶ原町	3.5
19	南本地ヶ原町	3.2
20	本地原小	2.8
21	南新町中畑	2.5
22	東山町	2.4
23	平子町中通	2.3
24	労災病院口	2.3
25	城山小前	2.2
26	東名西公園	2.0
27	小幡緑地東園	2.0
28	印場橋南	2.0
29	庄南町	1.9
30	旭野高東	1.9
31	本地住宅南	1.8
32	東印場橋	1.8
33	桜ヶ丘町三丁目	1.7
34	白鳳町一丁目	1.7
35	長坂町西	1.6
36	長池北	1.5
37	平子公民館	1.4
38	どうだん亭	1.4
39	瑞鳳橋	1.4
40	吉岡公園南	1.3
41	城前町四丁目	1.3
42	西大道町	0.9
43	洪川福祉センター西	0.7
44	新池交流館	0.7
45	城山公園	0.6
46	名古屋産業大前	0.3
47	本地ヶ原	0.2

番号	停留所	降車
1	市役所	39.4
2	愛知医大	15.8
3	本地住宅	9.9
4	旭労災病院	9.4
5	印場駅	9.0
6	旭前駅北	6.4
7	本地原小	5.9
8	緑町緑ヶ丘	5.6
9	県営住宅	4.5
10	城山町城山	4.3
11	西部浄化センター	4.1
12	南本地ヶ原町	3.8
13	旭前駅	3.8
14	南新町中畑	3.5
15	新池交流館	3.5
16	南栄町バロー前	3.4
17	印場橋南	3.1
18	平子町中通	2.9
19	平子町長池上	2.8
20	桜ヶ丘町一丁目	2.5
21	庄南町	2.5
22	洪川福祉センター西	2.4
23	小幡緑地東園	2.4
24	本地住宅南	2.3
25	東山町	2.2
26	名古屋産業大前	1.8
27	吉岡公園南	1.8
28	城前町茅池	1.8
29	東名西公園	1.6
30	どうだん亭	1.4
31	晴丘	1.3
32	桜ヶ丘町三丁目	1.2
33	北本地ヶ原町	1.1
34	城山小前	1.1
35	白鳳町一丁目	1.0
36	瑞鳳橋	1.0
37	長坂町西	0.9
38	東印場橋	0.9
39	平子公民館	0.9
40	労災病院口	0.8
41	長池北	0.7
42	城山公園	0.6
43	旭野高東	0.6
44	城前町四丁目	0.6
45	文化会館北	0.4
46	西大道町	0.3
47	本地ヶ原	0.2

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	45.9
2	愛知医大	12.9
3	旭労災病院	12.3
4	本地住宅	10.0
5	印場駅	9.0
6	県営住宅	6.8
7	城山町城山	6.5
8	旭前駅北	4.5
9	本地原小	4.2
10	西部浄化センター	4.2
11	南栄町パロ一前	4.1
12	旭前駅	3.6
13	平子町長池上	3.5
14	緑町緑ヶ丘	3.4
15	南本地ヶ原町	3.1
16	小幡緑地東園	2.9
17	本地住宅南	2.9
18	印場橋南	2.6
19	平子町中通	2.6
20	南新町中畑	2.5
21	吉岡公園南	2.5
22	城前町茅池	2.2
23	名古屋産業大前	2.1
24	桜ヶ丘町一丁目	1.9
25	東山町	1.8
26	東名西公園	1.8
27	庄南町	1.8
28	晴丘	1.7
29	平子公民館	1.7
30	渋川福祉センター西	1.6
31	新池交流館	1.5
32	城山小前	1.4
33	白鳳町一丁目	1.3
34	長坂町西	1.2
35	どうだん亭	1.1
36	労災病院口	1.0
37	瑞鳳橋	0.9
38	北本地ヶ原町	0.9
39	長池北	0.9
40	桜ヶ丘町三丁目	0.8
41	旭野高東	0.6
42	城山公園	0.5
43	城前町四丁目	0.3
44	東印場橋	0.2
45	西大道町	0.1
46	本地ヶ原	0.1
47	文化会館北	0.0

番号	停留所	降車
1	愛知医大	14.2
2	市役所	13.3
3	旭前駅	10.7
4	旭前駅北	10.7
5	文化会館北	9.6
6	印場駅	9.1
7	旭労災病院	9.0
8	城山町城山	7.4
9	晴丘	6.8
10	西部浄化センター	5.5
11	県営住宅	5.5
12	本地住宅	5.3
13	桜ヶ丘町一丁目	5.2
14	城前町茅池	4.9
15	城山小前	3.8
16	平子町長池上	3.7
17	本地住宅南	3.4
18	労災病院口	3.3
19	庄南町	3.2
20	南本地ヶ原町	3.1
21	東山町	2.6
22	平子町中通	2.6
23	桜ヶ丘町三丁目	2.5
24	北本地ヶ原町	2.4
25	南栄町パロ一前	2.4
26	平子公民館	2.2
27	どうだん亭	2.1
28	本地原小	2.1
29	緑町緑ヶ丘	2.0
30	南新町中畑	1.9
31	東名西公園	1.9
32	渋川福祉センター西	1.8
33	瑞鳳橋	1.7
34	小幡緑地東園	1.7
35	旭野高東	1.6
36	吉岡公園南	1.4
37	白鳳町一丁目	1.3
38	城前町四丁目	1.2
39	長池北	1.1
40	印場橋南	1.1
41	西大道町	1.1
42	長坂町西	0.9
43	東印場橋	0.8
44	城山公園	0.7
45	新池交流館	0.5
46	本地ヶ原	0.4
47	名古屋産業大前	0.2

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	26.4
2	イトーヨーカドー前	16.1
3	北原山町バロー前	14.6
4	旭台第1号公園北	8.1
5	柏井北公園	7.2
6	旭台3丁目	6.5
7	愛知医大	6.2
8	尾張旭駅	6.0
9	旭ヶ丘町山の手	5.3
10	東栄小東	4.4
11	根の鼻町集会所	4.3
12	旭台西	3.3
13	三郷駅北	3.1
14	三郷公民館北	3.0
15	上水道管理センター北	3.0
16	森林公園	3.0
17	西本地橋バロー前	2.8
18	晴丘	2.6
19	南原山町赤土	2.3
20	狩宿町アカバナ前	2.3
21	市民プール	2.1
22	あたご保育園前	2.0
23	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.0
24	井田町西	1.9
25	東部市民センター	1.7
26	瀬戸川	1.5
27	旭ヶ丘町長洞	1.3
28	本地ヶ原東公園	1.3
29	東栄町交差点	1.1
30	晴丘町東	1.1
31	南栄町バロー前	1.1
32	旭平和墓園東	1.1
33	晴丘北	0.9
34	西山保育園北	0.9
35	多世代交流館	0.9
36	旭ヶ丘ふれあい会館北	0.8
37	狩宿町三丁目	0.8
38	保健福祉センター	0.6
39	三郷小南	0.6
40	東中学校西	0.5
41	北山町六反田	0.5
42	北山町北山	0.2
43	稲葉町南	0.1
44	稲葉町	0.1

番号	停留所	降車
1	イトーヨーカドー前	24.3
2	三郷駅北	17.9
3	市役所	14.1
4	愛知医大	13.7
5	旭ヶ丘町山の手	10.5
6	狩宿町アカバナ前	6.4
7	南原山町赤土	5.0
8	西本地橋バロー前	4.0
9	晴丘	3.6
10	あたご保育園前	3.2
11	本地ヶ原東公園	3.1
12	柏井北公園	3.1
13	狩宿町三丁目	2.9
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.9
15	旭台3丁目	2.9
16	三郷公民館北	2.5
17	晴丘町東	2.4
18	東栄町交差点	2.4
19	上水道管理センター北	2.3
20	旭台第1号公園北	2.1
21	東部市民センター	2.0
22	北原山町バロー前	2.0
23	旭平和墓園東	2.0
24	東栄小東	1.9
25	南栄町バロー前	1.8
26	根の鼻町集会所	1.7
27	森林公園	1.7
28	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.6
29	旭ヶ丘町長洞	1.5
30	井田町西	1.5
31	旭台西	1.4
32	瀬戸川	1.3
33	北山町北山	1.0
34	東中学校西	0.9
35	西山保育園北	0.8
36	晴丘北	0.8
37	多世代交流館	0.7
38	三郷小南	0.5
39	北山町六反田	0.3
40	稲葉町	0.3
41	市民プール	0.2
42	稲葉町南	0.1
43	尾張旭駅	0.0
44	保健福祉センター	0.0

○ 東ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	イトーヨーカドー前	31.6
2	市役所	18.0
3	愛知医大	15.3
4	三郷駅北	9.1
5	旭ヶ丘町山の手	8.5
6	狩宿町アカバネ前	5.4
7	晴丘	4.9
8	西本地橋バロー前	4.9
9	南原山町赤土	4.1
10	南栄町バロー前	3.5
11	本地ヶ原東公園	3.4
12	旭台3丁目	2.8
13	あたご保育園前	2.8
14	柏井北公園	2.7
15	三郷公民館北	2.7
16	旭ヶ丘町長洞	2.5
17	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.4
18	旭台第1号公園北	2.2
19	上水道管理センター北	2.1
20	狩宿町三丁目	1.9
21	晴丘町東	1.9
22	北山町北山	1.7
23	森林公園	1.7
24	旭平和墓園東	1.7
25	東部市民センター	1.6
26	北原山町バロー前	1.5
27	瀬戸川	1.5
28	東栄町交差点	1.5
29	根の鼻町集会所	1.4
30	東栄小東	1.3
31	旭台西	1.2
32	多世代交流館	1.2
33	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.1
34	西山保育園北	1.1
35	市民プール	1.1
36	井田町西	1.1
37	東中学校西	1.1
38	晴丘北	0.8
39	三郷小南	0.3
40	北山町六反田	0.3
41	稲葉町	0.2
42	稲葉町南	0.1
43	尾張旭駅	0.1
44	保健福祉センター	0.0

番号	停留所	降車
1	市役所	18.1
2	イトーヨーカドー前	15.0
3	尾張旭駅	11.9
4	北原山町バロー前	10.6
5	旭台第1号公園北	8.9
6	愛知医大	8.1
7	三郷駅北	6.5
8	柏井北公園	6.2
9	東栄小東	5.6
10	根の鼻町集会所	5.2
11	旭台3丁目	4.9
12	旭ヶ丘町山の手	4.1
13	南原山町赤土	3.9
14	晴丘	3.4
15	上水道管理センター北	3.1
16	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.7
17	西本地橋バロー前	2.7
18	狩宿町アカバネ前	2.7
19	東部市民センター	2.6
20	三郷公民館北	2.5
21	旭台西	2.4
22	森林公園	2.2
23	本地ヶ原東公園	2.1
24	東栄町交差点	2.0
25	瀬戸川	1.7
26	晴丘町東	1.6
27	井田町西	1.5
28	あたご保育園前	1.4
29	三郷小南	1.2
30	西山保育園北	1.2
31	旭平和墓園東	1.1
32	南栄町バロー前	1.1
33	保健福祉センター	1.0
34	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.0
35	旭ヶ丘町長洞	1.0
36	狩宿町三丁目	0.9
37	東中学校西	0.9
38	市民プール	0.8
39	晴丘北	0.8
40	多世代交流館	0.6
41	北山町六反田	0.4
42	北山町北山	0.2
43	稲葉町	0.1
44	稲葉町南	0.1

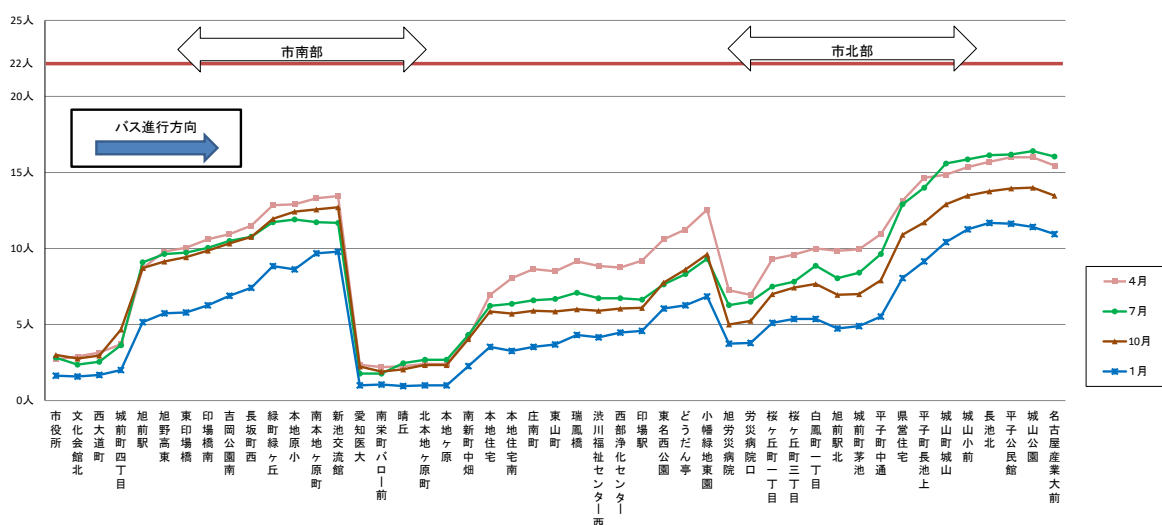
(7) 平日第1便の平均乗車人員の状況

令和元年（平成31年）4月、7月、10月及び令和2年1月における、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第1便の平均乗車人員を、それぞれグラフで示しました。なお、グラフの数値はバスが各停留所を発車した際のバス車内の平均乗車人員を表し、赤線はバス車両の定員（西ルートは22人、東ルートは26人）を表しております。

ア 西ルート（右回り）

「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第1便の乗車人員<西ルート(右回り)>

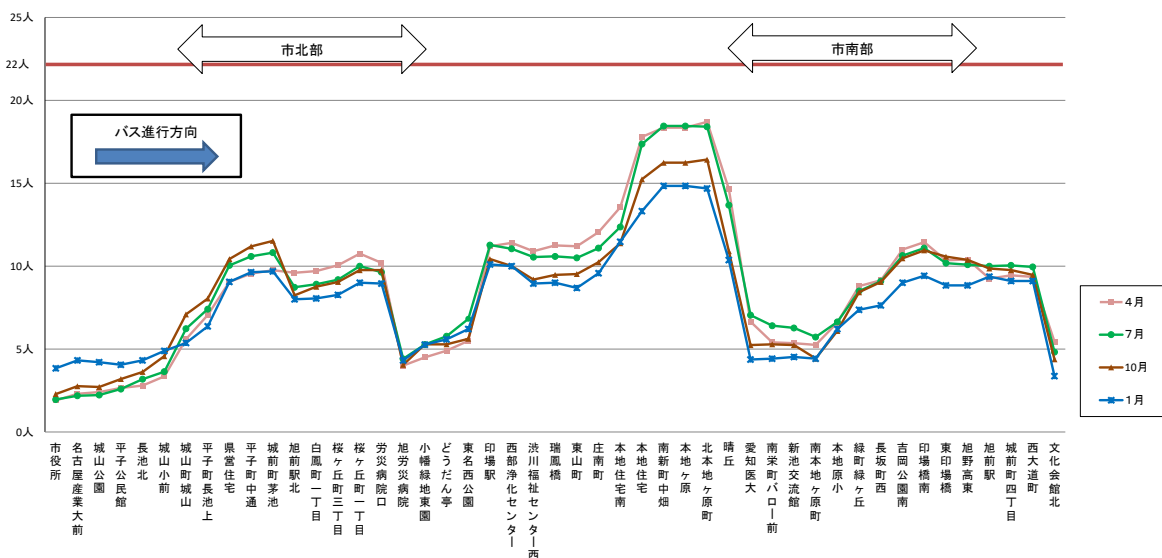


イ 西ルート（左回り）

「本地住宅」～「愛知医大」間で平均乗車人員が多くなっており、平均乗車数が15人を超えており20人に迫るなど、積み残しが発生する可能性が高くなっている傾向にあります。

また、「平子町長池上」～「旭労災病院」間も乗車人員が多く、市北部の住宅地から「旭前駅北」や「旭労災病院」への利用もある状況です。

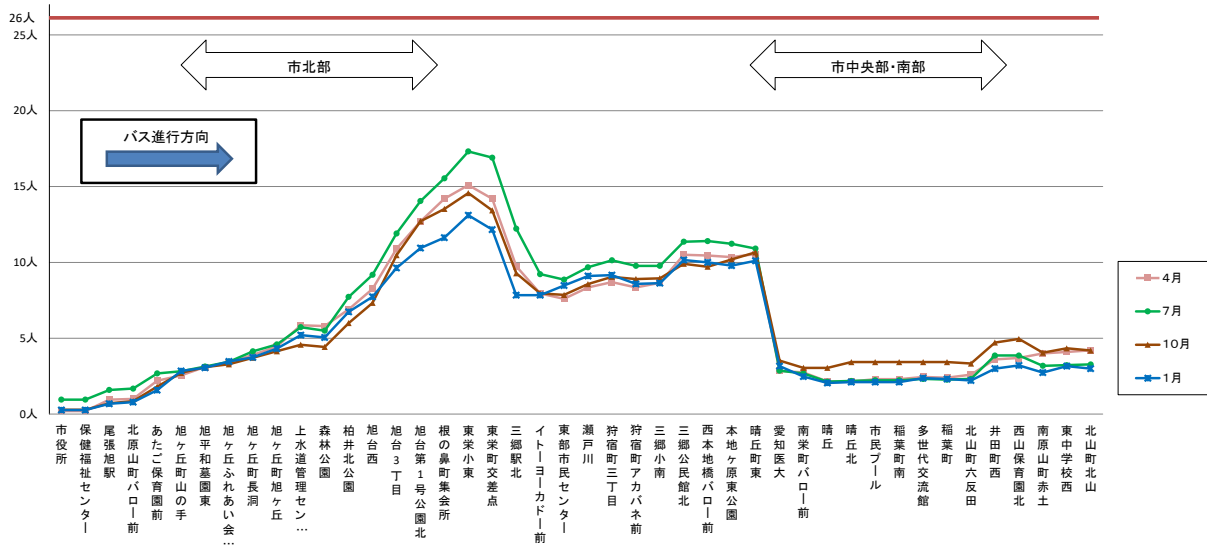
平日第1便の乗車人員<西ルート(左回り)>



ウ 東ルート（右回り）

「柏井北公園」～「イトーヨーカドー前」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「三郷駅北」や「イトーヨーカドー前」「愛知医大」への利用が多い傾向にあります。

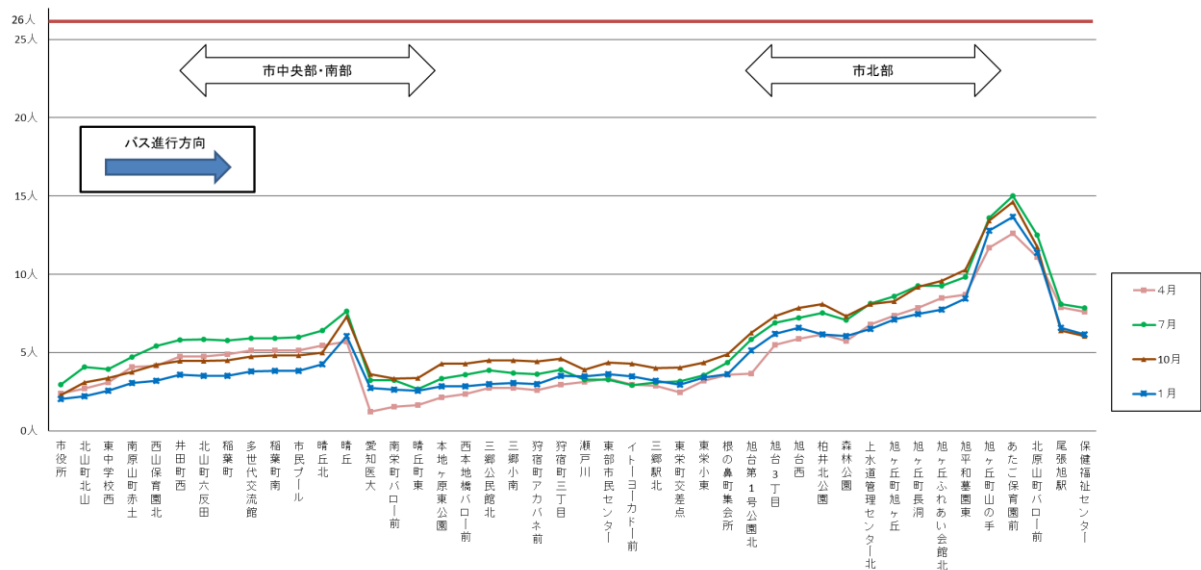
平日第1便の乗車人員<東ルート(右回り)>



エ 東ルート（左回り）

「旭ヶ丘町山の手」～「尾張旭駅」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「北原山バロー前」「尾張旭駅」「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第1便の乗車人員<東ルート(左回り)>



以上の結果により、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第1便においては、北部地域から市中央部や主要な病院までの区間や、南西部地域から愛知医大までの区間で乗車人員が多い状況にあります。

▽ どのルートでも北部地域の住宅地における停留所から多くの利用者が乗車し、徐々に平均乗車人員が多くなっています。

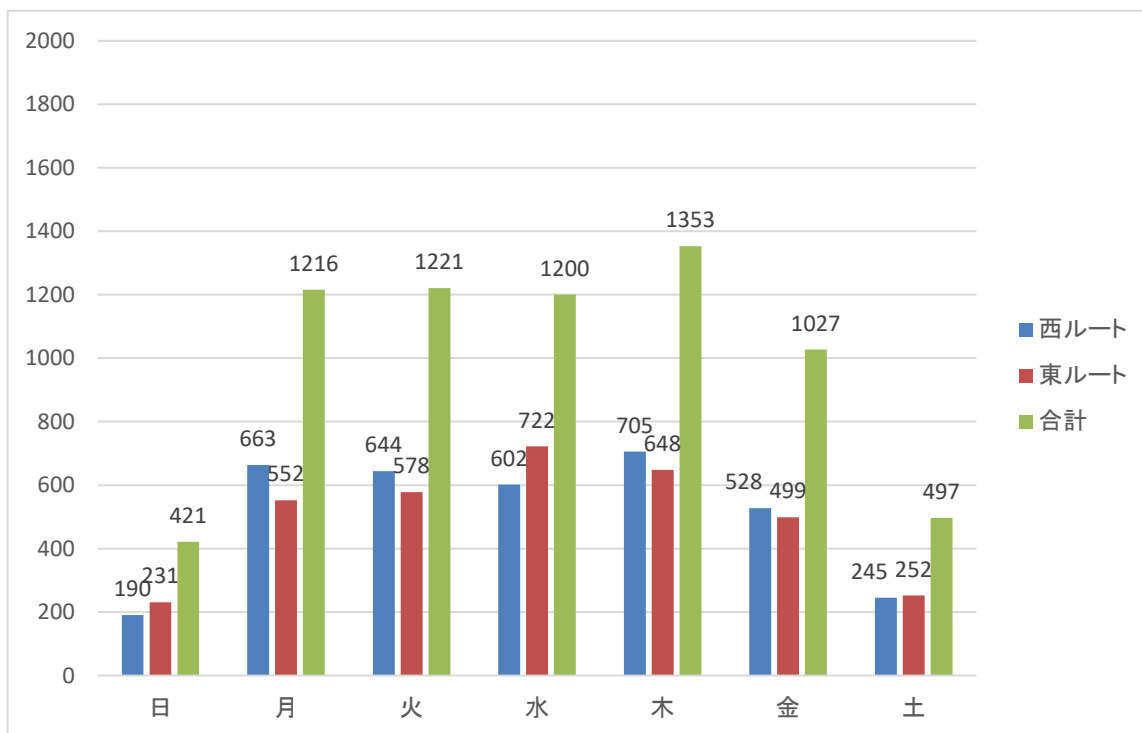
▽ 「市役所」「尾張旭駅」「旭前駅北」「旭労災病院」「愛知医大」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」などの停留所で多くの利用者が降車し、各停留所を過ぎてからは平均乗車人員が少なくなっています。

▽ 平成28年には運行本数を増加したことにより、利用者が分散し平均乗車人員が低下したものの、利用者の増加により、西ルート右回りの「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が10人以上であり、西ルート左回りの「本地住宅」～「愛知医大」間では平均乗車人員が15人を超えています。東ルート右回りにおいても「旭台3丁目」～「三郷駅北」間における平均乗車人員が10人を超えています。

(8) 曜日別平均利用者数の状況

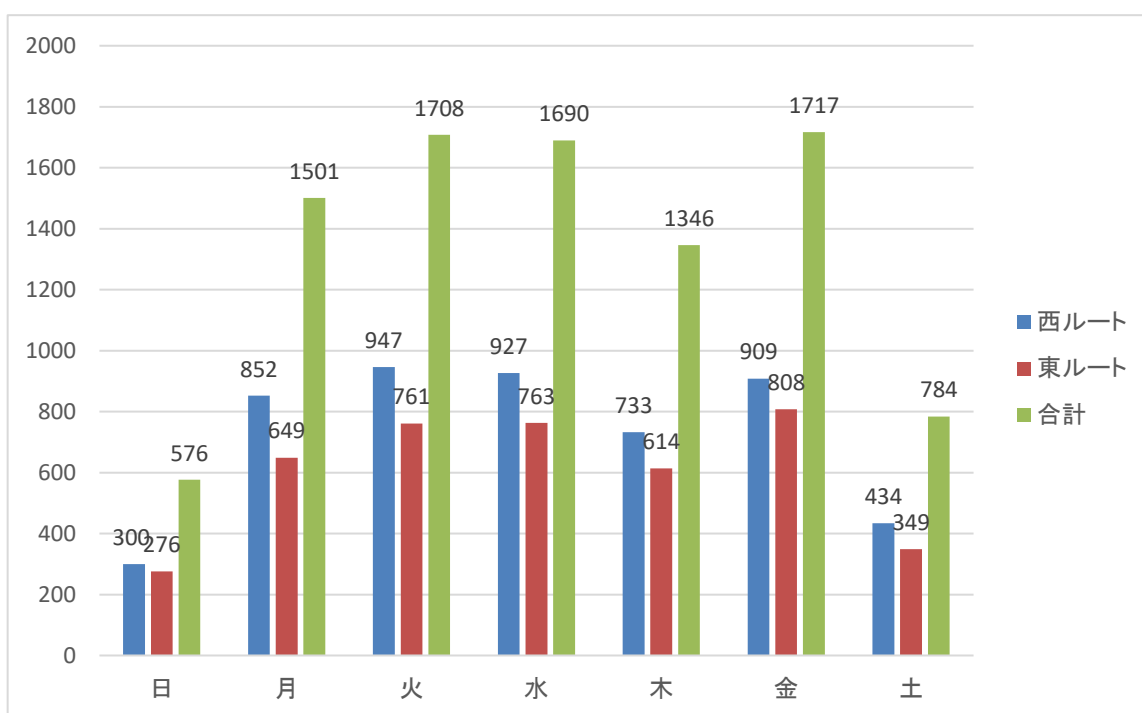
令和2年3月の1か月間の曜日別の平均利用者数をグラフで示しました。

新型コロナの影響により、平日、休日ともに前年に比べて2～3割利用者が減少しています。



※西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

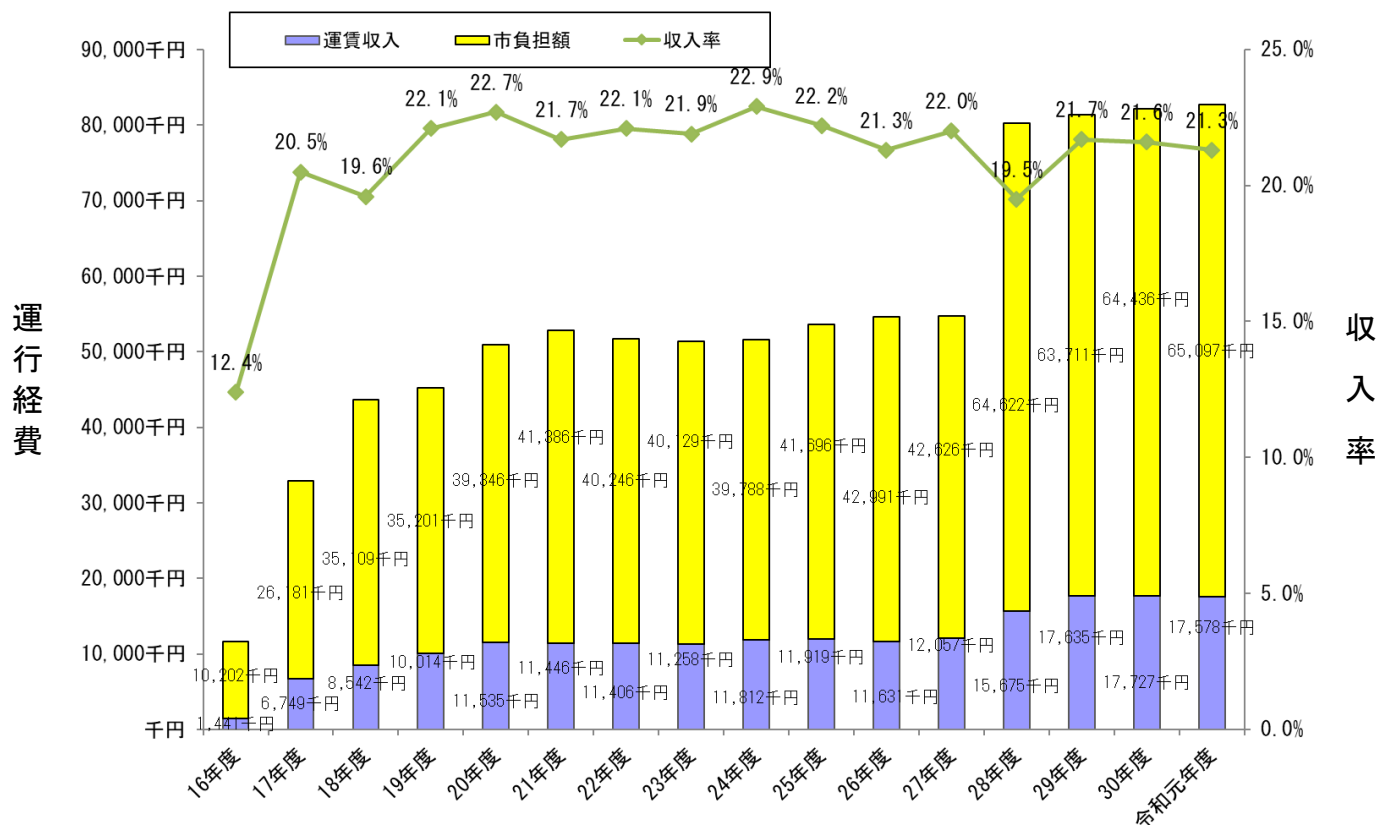
参考 曜日別利用状況【平成30年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

平成21年度以降、収入率においては22%前後を推移していましたが、平成28年度に運行内容を変更し、運行本数等が増加したことから、収入率が20%を切りましたが、平成29年度以降は利用者が増加したことから収入率が21%以上で推移しています。



- ※ 平成16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 平成18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 平成19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 平成20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 平成20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化
- ※ 市負担額に平成23年度からは東ルート、平成29年度からは西ルート運行経費に対する国庫補助を含む

参考 利用者一人当たりの運行経費推移

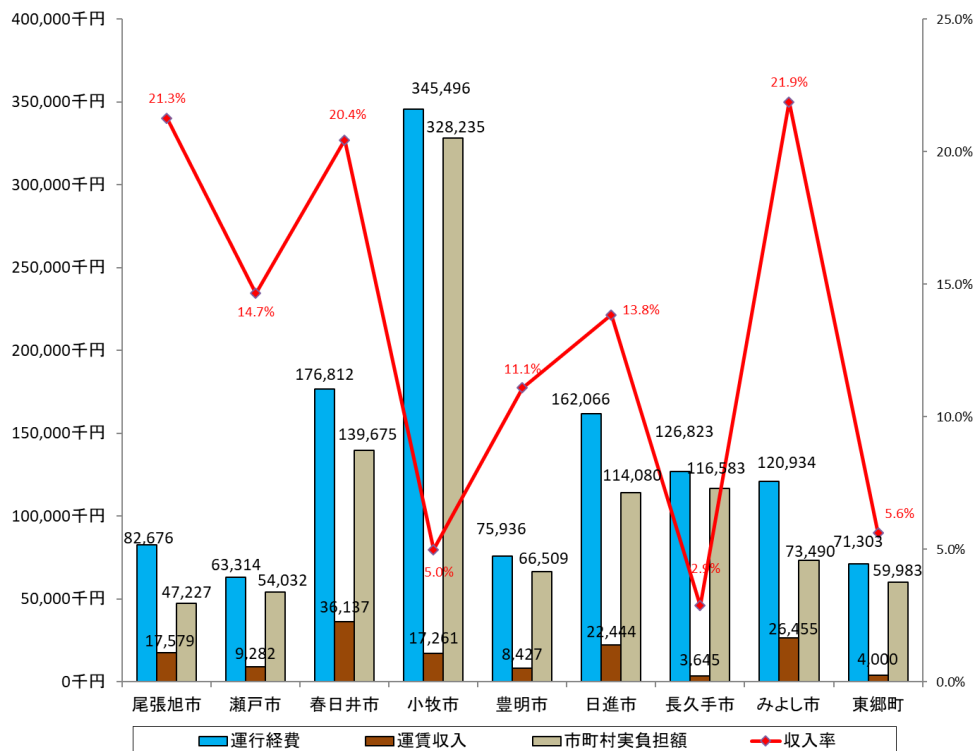
単位：人、円

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
利用者数	14,995	70,540	86,793	107,263	132,653	135,625	138,273	141,731
利用者一人当たりの運行経費	776	467	503	422	384	390	374	363
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
利用者数	148,868	153,553	152,693	157,319	200,168	229,849	236,096	241,878
利用者一人当たりの運行経費	347	349	358	348	401	353	348	341

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける令和元年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況

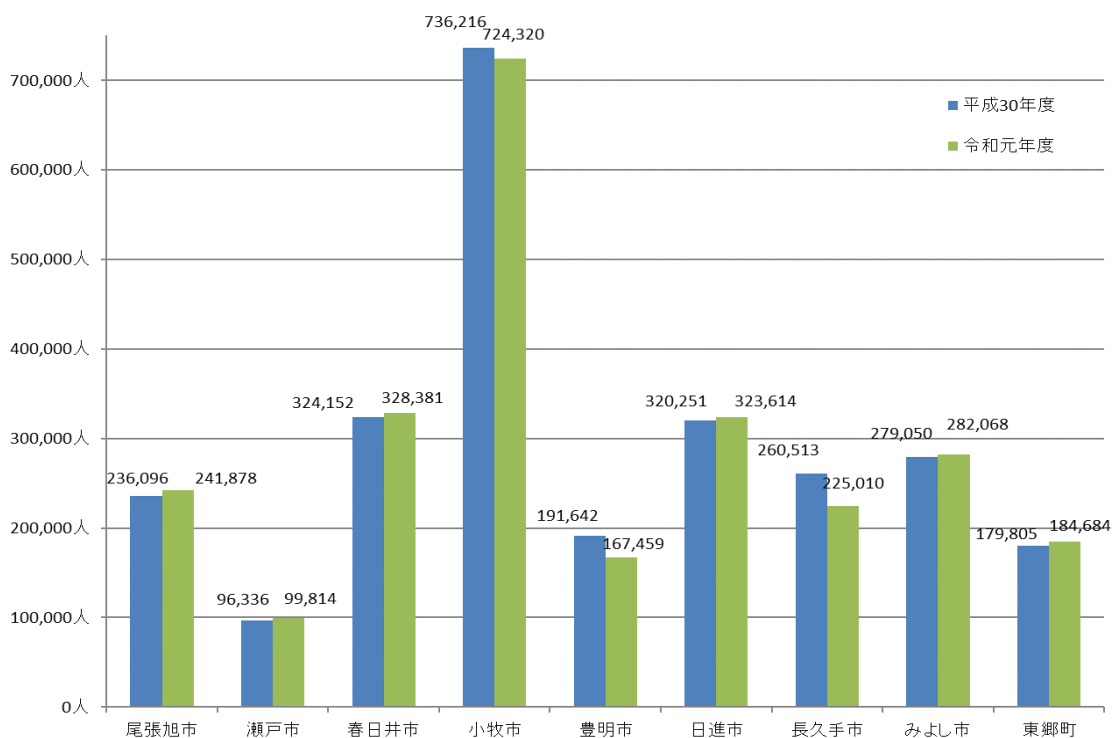


※ 「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（県地域振興部交通対策課）」より

- 注）各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。
 ・全市町、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
 ・国県からの補助を含む場合、運行経費と運賃収入+市町村実負担額が一致しない。

○ 年間利用者数

単位：人



市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通不便地区の解消	瀬戸自動車運送㈱
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	昼間帯の高齢者の移動手段の提供 公共交通空白地域の解消 公共施設への接続	名鉄バス㈱
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進 公共施設への利便性の向上 交通空白地区の解消	名鉄バス㈱
日進市	くるりんばす	公共交通空白地域の解消 市民の買い物・通院等の交通手段の確保 市民の社会参加、市民同士の交流の促進	名鉄バス㈱
長久手市	Nーバス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援	名鉄バス㈱
みよし市	さんさんバス	市内の交通空白地区の解消 高齢者・移動困難者の社会参加支援 公共公益施設などへの交通手段の確保 地域間の交流促進 交通の安全と円滑化の促進	愛知つばめ交通㈱
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送㈱
尾張旭市	あさび一号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車両台数	基本運行日	1日運行回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始を除く) 外	6回 外	100円	障害者は半額、身体障害者手帳等所持者は、付添も半額 1歳未満児無料 1歳以上6歳未満児は6歳以上に同伴同伴される場合無料(2名まで)
春日井市	4本	8台	毎日 (年末年始を除く)	15回 外	200円	未就学児、障がい者(手帳所持者)とその付添人1名まで無料 小人、運転免許自主返納者カード、高齢者カード、マタニティカード所持者所持者100円
小牧市	19本	18台	毎日 (年末年始を除く)	13回 外	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生未満)、65歳以上無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば本人及び付添1名無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれば無料。
豊明市	3本	3台	毎日 (年末年始を除く)	9回 外	100円	市内在住で中学生以下・身体障害者手帳等を携帯している方と付き添いの方1名無料
日進市	7本	7台	毎日 (年末年始を除く)	11回 外	200円 外	他のコースへ当日乗り継ぐ場合、1回のみ100円割引。中学生以下の子ども、身体障害者手帳等所持者、介護保険法による介護認定を受けている者及びその付き添い1名は無料。運転免許自主返納者は3ヵ月間無料。
長久手市	9本	6台	毎日 (年末年始を除く)	11回 外	100円	中学生以下、未就学児1人につき付添1人、妊婦、身体障害者手帳等所有者と付添1名、市発行「あったかあど」携帯者(高齢者・障害者用)無料
みよし市	3本	7台	毎日 (年中無休)	13回	100円	未就学児、介助者、バス乗合タクシー間の乗り継ぎ無料
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始を除く)	9回 外	100円	障害者と付添1人、中学生以下の子ども、65歳以上無料
尾張旭市	2本	6台	毎日 (年末年始を除く)	9回 外	100円	未就学児及び障害者無料(障害者の付添も1人まで無料)

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、下記のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

令和元年12月17日（火）（天候：雨）

【(参考)平成30年度調査】

平成30年12月13日（木）（天候：晴れ）

2 調査方法

調査員（市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月17日～1月10日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数	126枚	回収枚数	98枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数	107枚	回収枚数	86枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数	90枚	回収枚数	73枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数	108枚	回収枚数	96枚
合計	配布枚数	431枚	回収枚数	353枚 (回収率 81.9%)

尾張旭市営バス あさびー号 利用者アンケート調査

このアンケートは、尾張旭市営バス あさびー号に関して、利用者の皆さまのご意見をお聞きし、今後の運行改善の参考とするために尾張旭市が実施するものです。設問が多く大変お手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願い申し上げます。

市役所都市計画課

(当てはまる番号に○を付けてください。また、設問によっては言葉でお答え下さい。)

Q.あなたのことについてお聞きします。

①	年 齢	1 80歳以上 2 70歳代 3 60歳代 4 50歳代 5 40歳代 6 30歳代 7 20歳代 8 20歳未満
②	職 業	1 自営業 2 会社員 3 公務員 4 パート・アルバイト 5 主婦(夫) 6 学生 7 無職 8 その他()
③	自ら運転して 使える交通手段	1 ない 2 自転車 3 バイク 4 自動車 ※該当する項目全てに○をつけてください。
④	あさびー号の 利用回数	1 ほとんど毎日 2 週3~4回程度 3 週1~2回程度 4 月1~3回程度 5 年に数回 6 はじめての利用
⑤	ご自宅からバス 停までの時間	1 歩いて3分以内 2 歩いて3~5分 3 歩いて5~7分 4 歩いて7~10分 5 歩いて10分以上

Q.利用する目的・理由について

⑥	利用する目的 (2つまで)	1 買い物・飲食 2 レジャー・娯楽 3 通院 4 市役所への用事(会議を含む) 5 通勤・通学 6 試乗 7 仕事上での移動 8 その他()
⑦	利用する理由 (2つまで)	1 他に交通手段がない 2 運賃が安く経済的なため 3 利用時間がよかった 4 出発地・目的地が停留所に近い 5 あさびー号に興味があった 6 自動車以外出するより便利 7 飲酒の機会があったため 8 その他()

Q.本日の利用について

⑧	乗降内容	乗車した停留所 → 降車した(する)停留所 _____ ※停留所番号のみの記入でも結構です。	降車後、東ルートへの乗り換え 1 する 2 しない 他の電車・バスへの乗換 1 する 2 しない
⑨	目的地	_____	※ 本日の目的地について差し支えなければお答えください。 例) 市役所、〇〇ストア〇〇店、〇〇病院 地名、駅名等でも結構です。
⑩	お出かけとお帰りの交通手段 (それぞれ2つまで)	お出かけ ⇒ { 1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車 5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他 } お帰り ⇒ { 1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車 5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他 }	

Q.あさび一号の運行経費についてお聞きします。

(現在あさび一号の運行経費として、年間約8,200万円必要です。)

⑪	税金を使うことに 対し、どう思われ ますか	1 もっと税金を使うべき 2 どちらかといえば税金を使うべき 3 今ぐらいが良い 4 どちらかといえば使う税金を減らすべき 5 もっと使う税金を減らすべき 6 税金を使うべきでない
⑫	現在、1回100円の料金を頂いておりますが、このバスがもっと便利になるとしたら、1回いくらまでなら払っても良いと思われませんか？(※このバスの「価値」をはかるための質問です。料金改正の参考にするものではありませんので、ご自由な「感覚」でお答え下さい。) 1回()円 までなら払っても良い	

Q. あさび一号運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

a	ルート	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
b	運行ダイヤ (時間帯・間隔)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
c	車の乗り心地 (スピード・急停車など)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
d	停留所 (位置・間隔)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
e	運転手の対応 (接客・マナー)	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
f	全体	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い
4または5を選択されたかたは具体的にご記入ください。		

その他感想、意見、利用促進のアイデアなどをご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

※ このアンケート用紙はご記入後、1月10日(金)までに車内の回収箱にご投函いただくか、市役所都市計画課へご持参いただけますと幸いです。

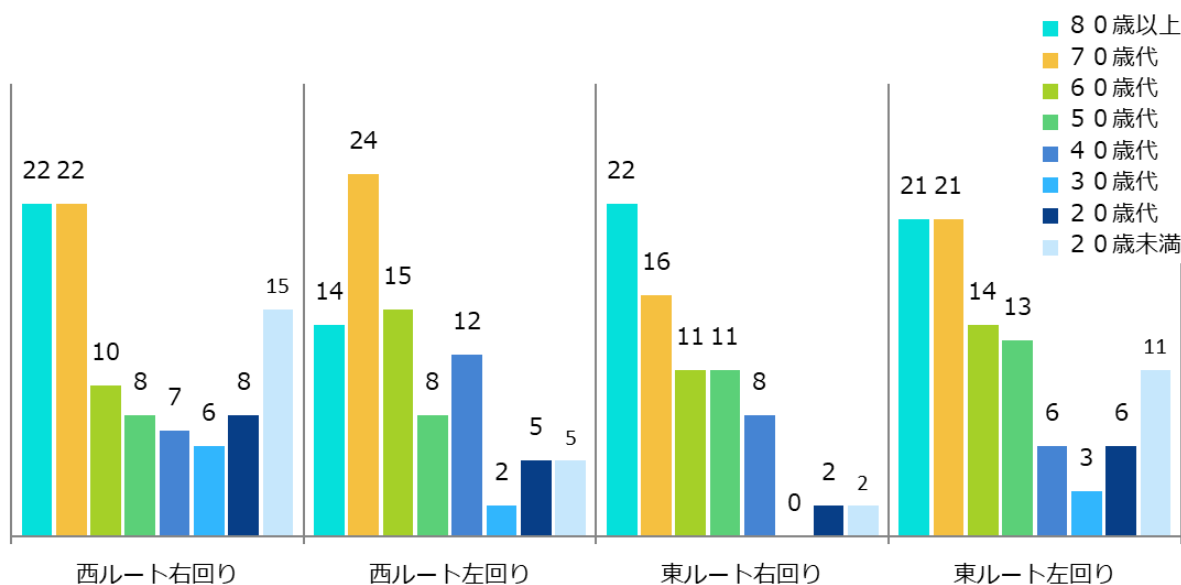
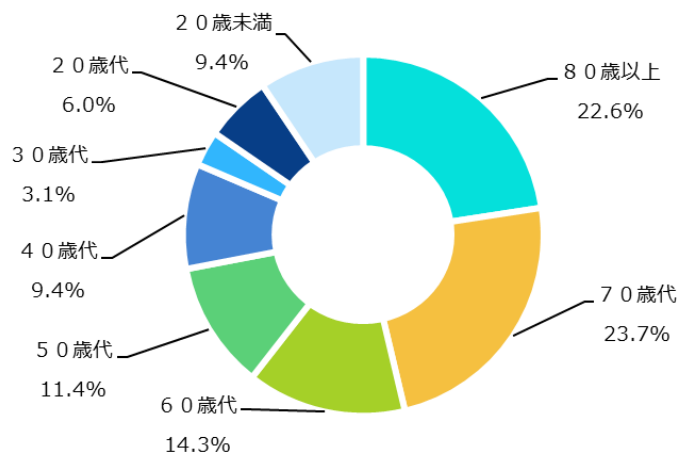
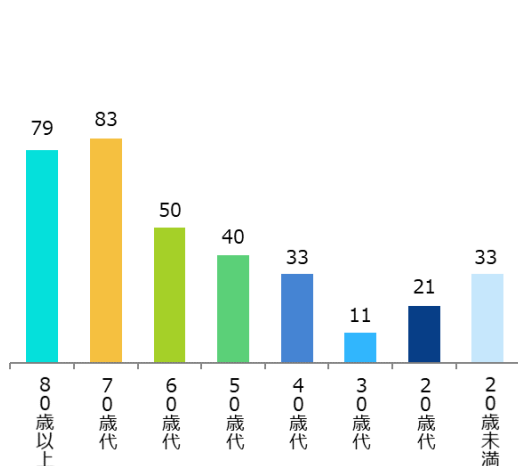
※ 回答いただいた結果は、今後の運行改善の参考とする以外には使用しません。

令和元年度利用者アンケート調査集計結果

1 集計結果

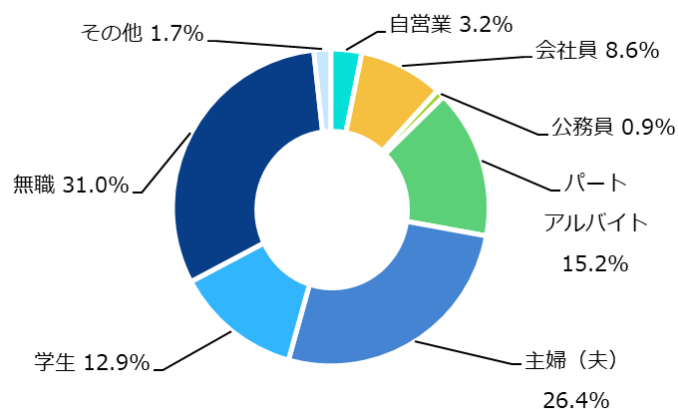
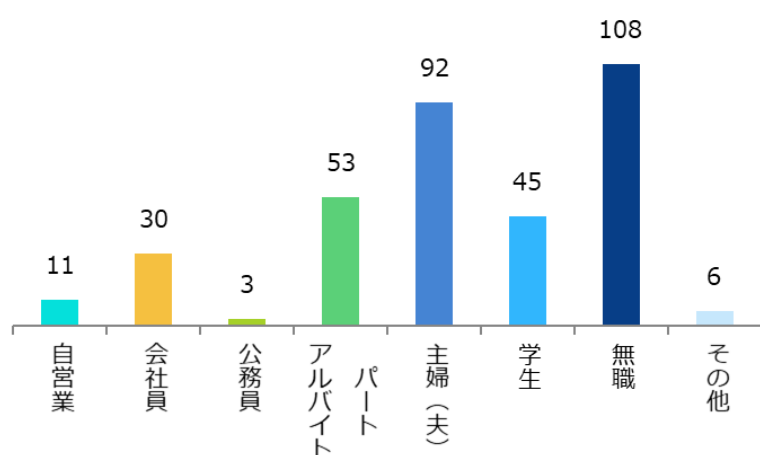
Q. あなたのことについてお聞きします。

①年齢



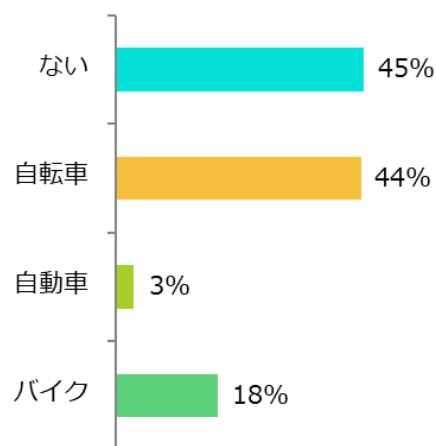
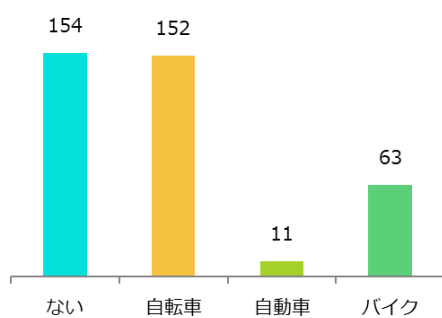
- ・年齢について、「60歳代」以上の人が6割を越えている。
- ・アンケート当日、旭野高等学校及び長久手高等学校の学校行事と重なり、天候（雨）も相まって、例年になく20歳未満の利用が多かった。
- ・ルート別の年齢では、西ルート左回り以外は「70歳代」の利用者が最も多くなっている。

②職業



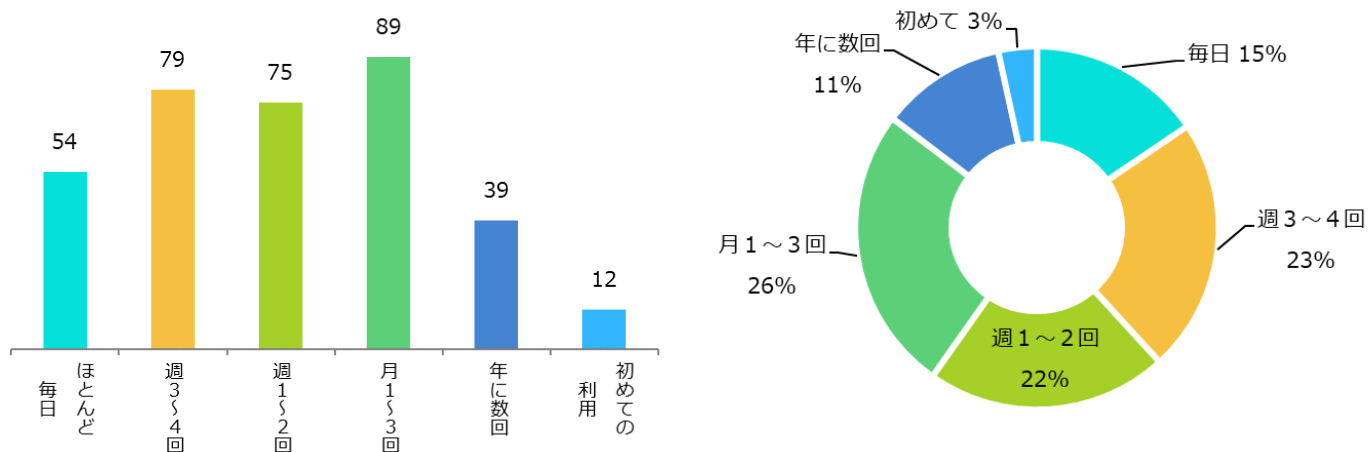
- ・職業について、「主婦(夫)」または「無職」と答えた人の割合が合わせて約6割となっている。
- ・学校行事とアンケート実施日が重なったため、学生の利用者数が多くなり、例年の約2倍となった。

③自ら運転して使える交通手段(複数回答可)



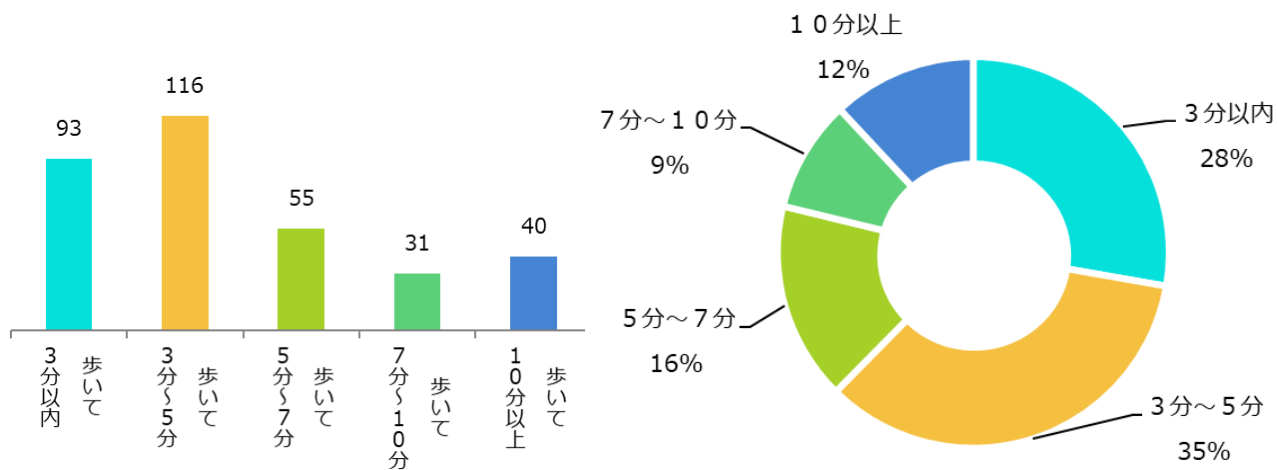
- ・自ら運転して使える交通手段について、「ない」と答えた人が昨年度より16ポイント減って45%となっている一方で、「自転車」と答えた人が昨年度より13ポイント増えて44%となっている。
- ・学生の割合が増えていることが上記の変動の要因と考えられる。

④尾張旭市営バスの利用回数



- ・「月1~3回」利用している人の割合が、昨年度より5ポイント増加し26%となっている。
- ・「毎日」「週3~4回」の利用と答えた人は、昨年度より7ポイント減少し38%となっている。

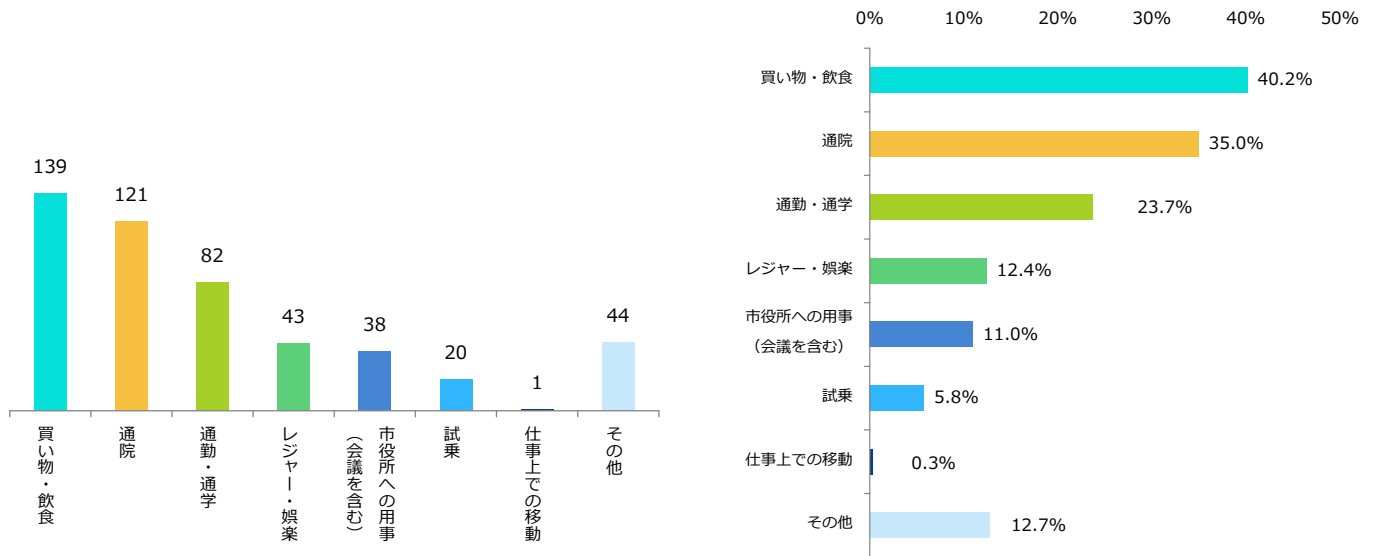
⑤自宅からバス停までの時間



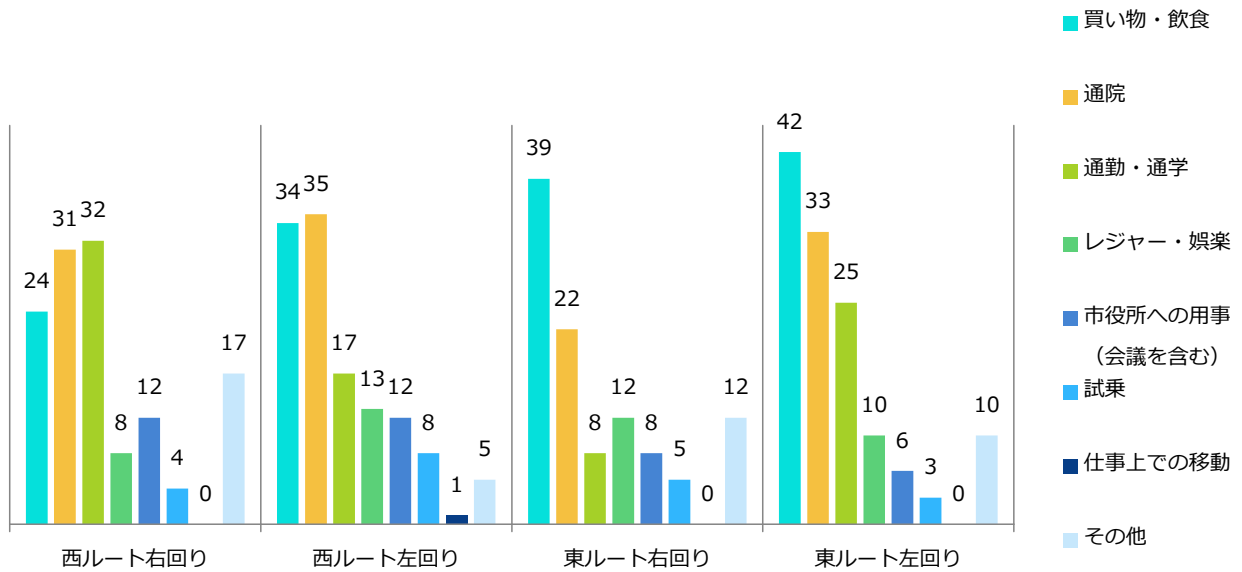
- ・自宅から停留所までの時間については、「歩いて3分以内」及び「歩いて3分~5分」答えた人の割合が合わせて約6割となっている。

Q. あなたが、あさぴー号を利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑥利用する目的（2つまで選択可）

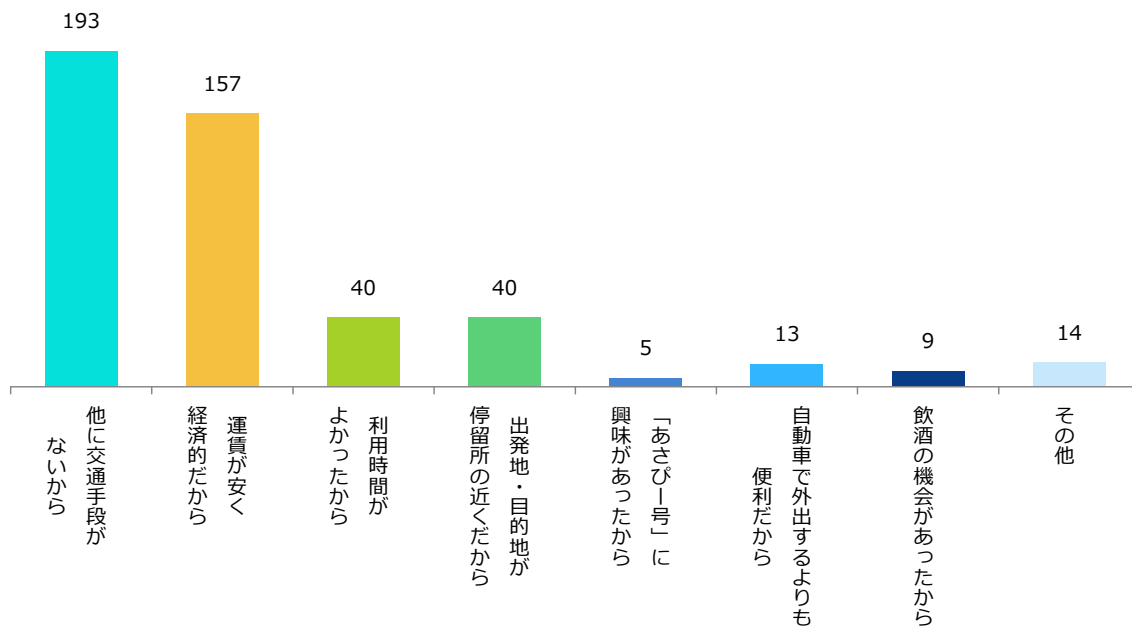


ルート別利用目的



- ・利用目的については、「買い物・飲食」及び「通院」と答えた人が多くを占めている。
- ・西ルート右回りでは「買い物・飲食」「通院」よりも「通勤・通学」が多いが、学校行事とアンケート実施日が重なったためと考えられる。
- ・西ルートでは相対的に「買い物・飲食」「通院」が多く、東ルートでは「買い物・飲食」のためのバス利用が最も多かった。

⑦利用する理由（2つまで選択可）

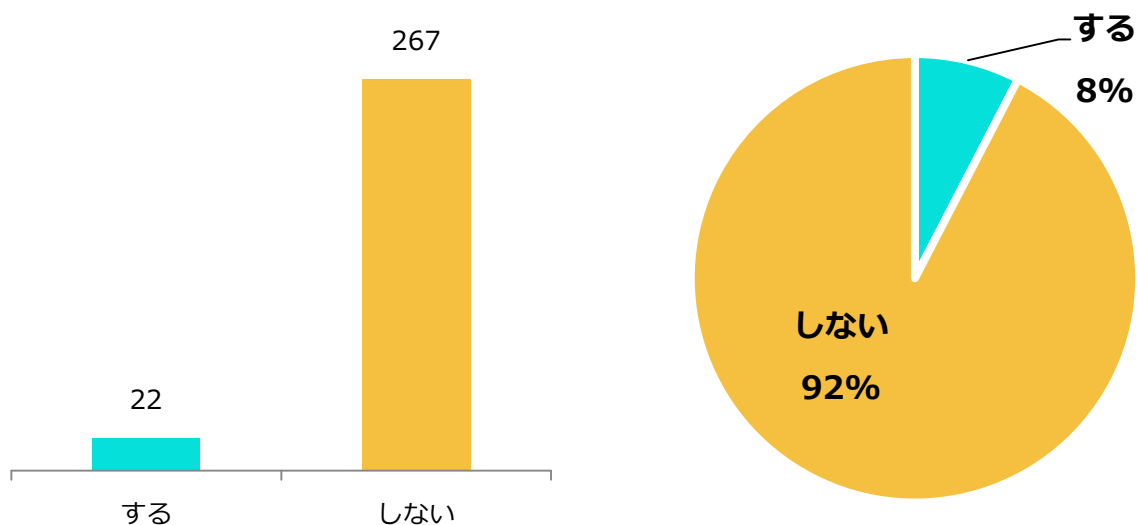


- ・利用理由は、「他に交通手段がないから」、「運賃が安く経済的だから」と答えた人が特に多かった。
- ・一方で、「自動車で外出するよりも便利だから」などの答えは少なかった。

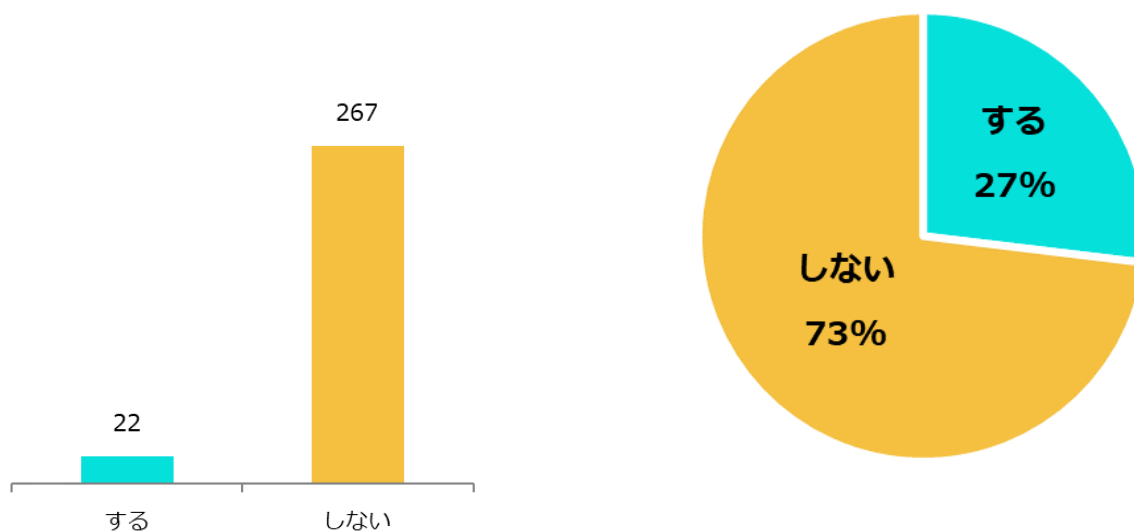
Q.あなたがどのようにあさび一号を利用しているのかお聞きします。

⑧乗降内容

乗降後、他ルートへの乗換



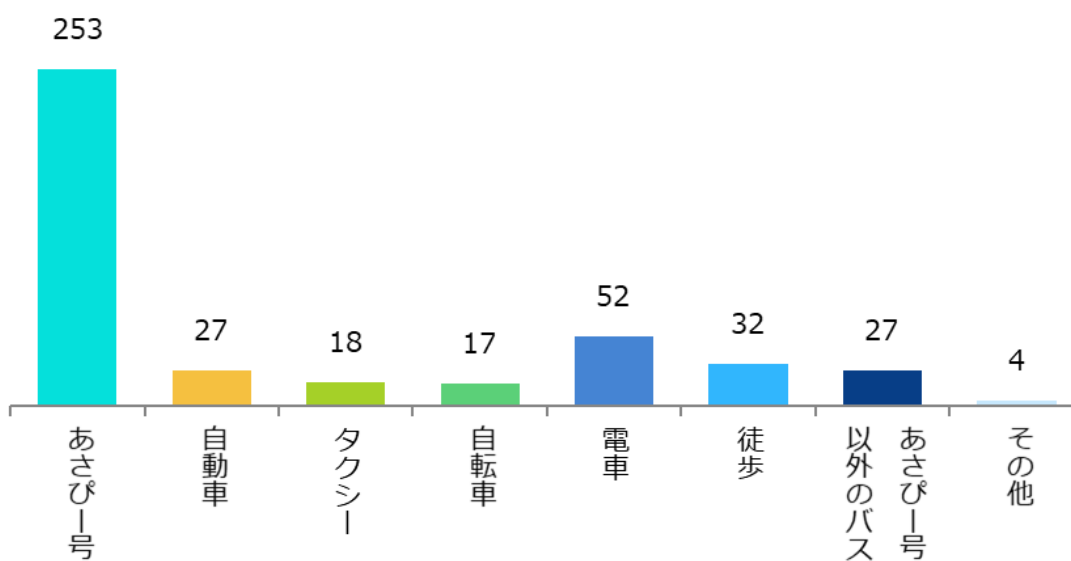
他の公共交通への乗換



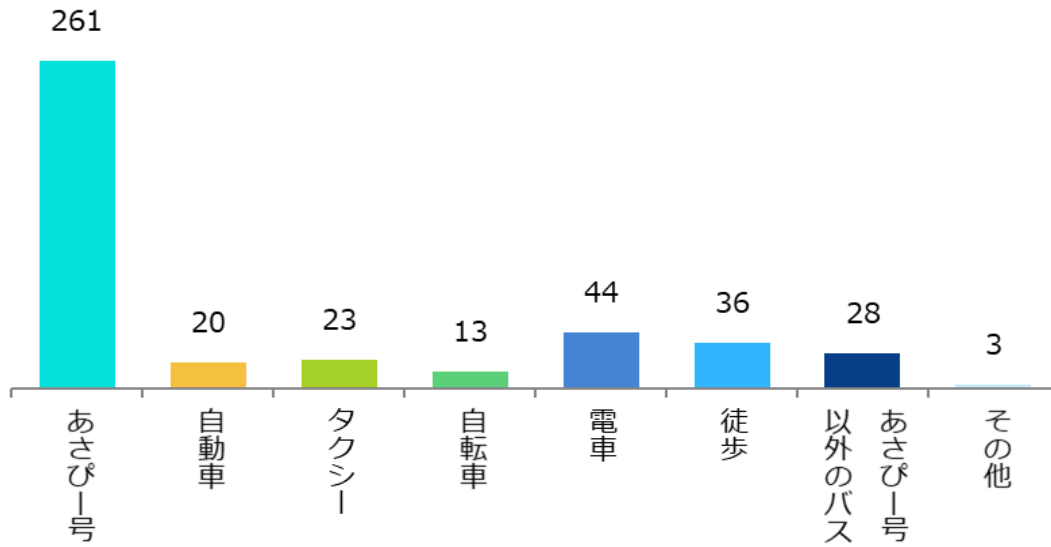
- ・「あさび一号の他ルートへの乗り換え」をしていると答えた人が約1割いた。
- ・「他の公共交通への乗り換え」は回答者の約3割となっており、残りの7割については、あさび一号を利用して直接目的地に向かっていると考えられる。
- ・当日は学校行事の影響で学生が多く、また雨が降っていたため、帰宅に利用したと考えられる。

⑩お出かけとお帰りの交通手段（それぞれ2つまで）

本日のお出かけの交通手段



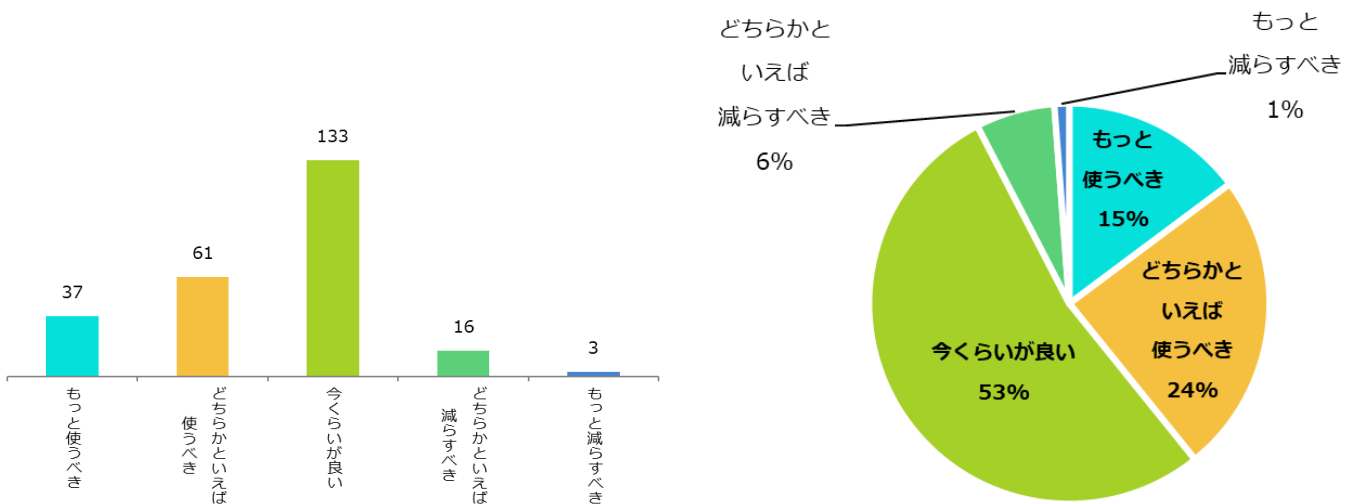
本日のお帰りの交通手段



- ・目的地まで「あさぴー号」で行き、「あさぴー号」で帰る人が非常に多かった。
- ・目的地への行き帰りの交通手段として、「あさぴー号」に「電車」「あさぴー号以外のバス」といった公共交通機関を組み合わせる移動されている方が見受けられる。

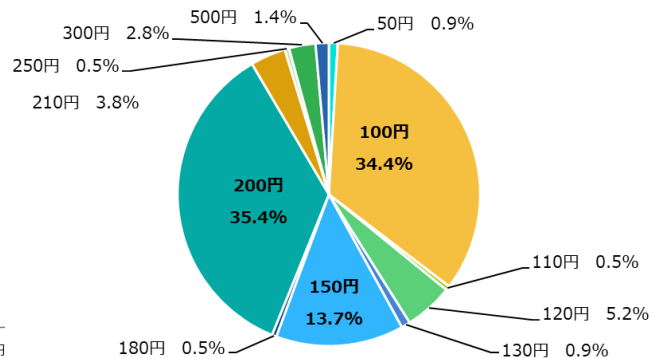
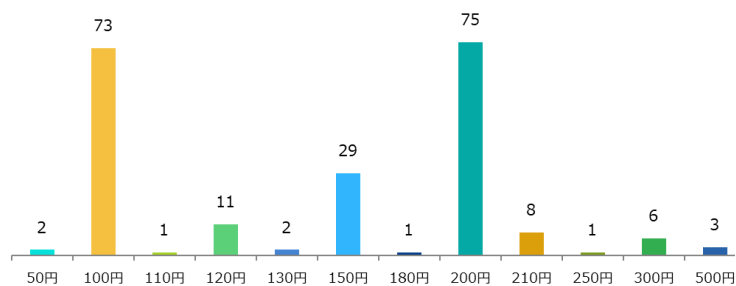
Q.あさぴー号の運行経費についてお聞きします。

⑪税金を使うことに対し、どう思われますか



- ・税金を使うことに対しては、「今くらいが良い」と答えた人が約5割であった。
- ・「もっと使うべき」「どちらかといえば使うべき」が約4割であった。

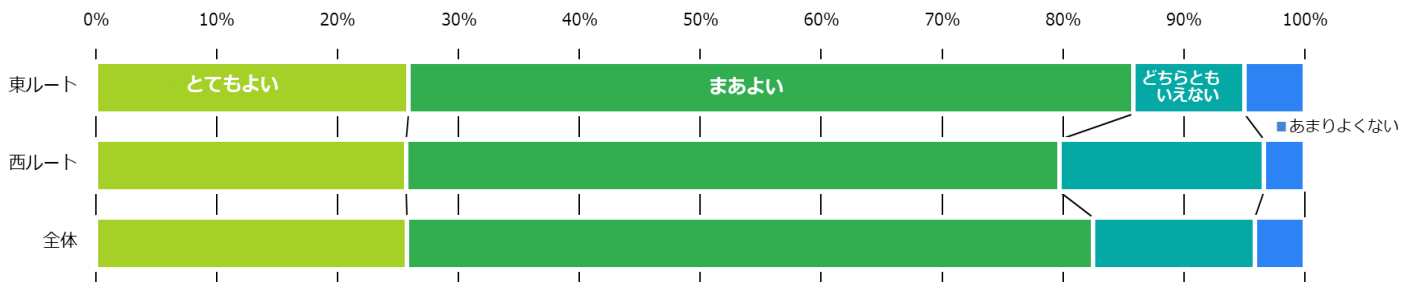
⑫1回 〇〇〇円までなら払っても良い



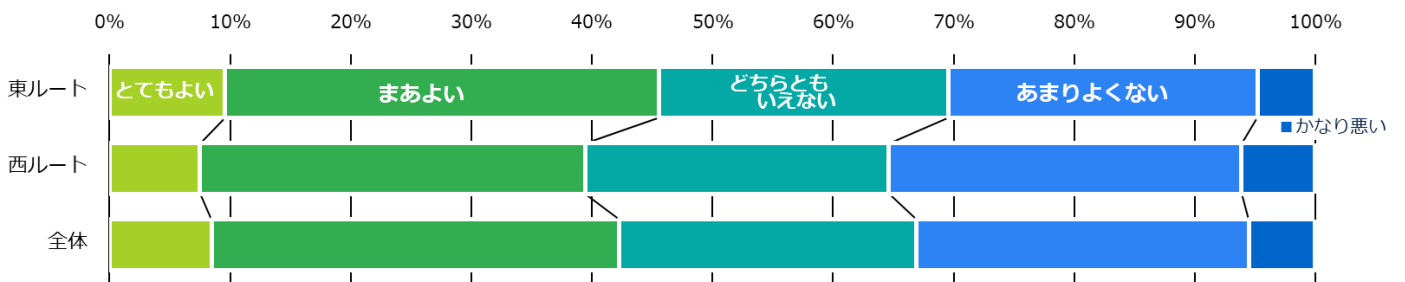
- ・「100円」～「200円」間で約9割を占めている。
- ・「200円」と答えた方が一番多く35.4%、次に現在の料金である「100円」が34.4%であった。

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

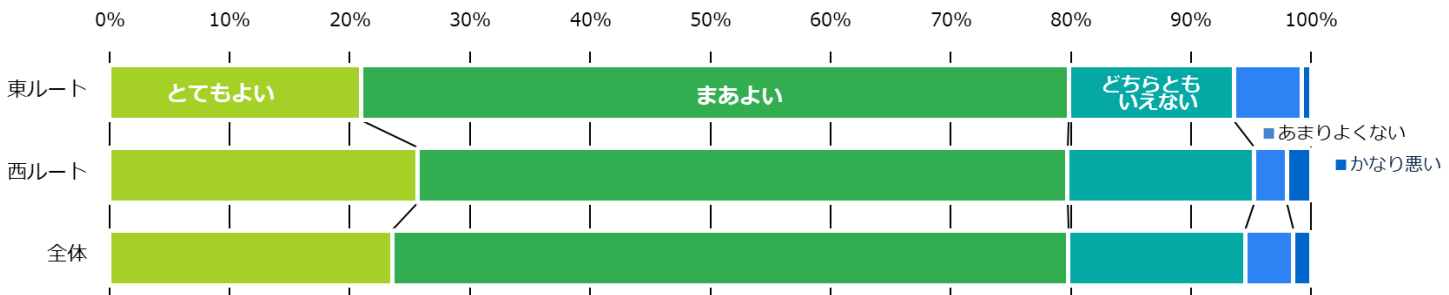
a 運行ルート



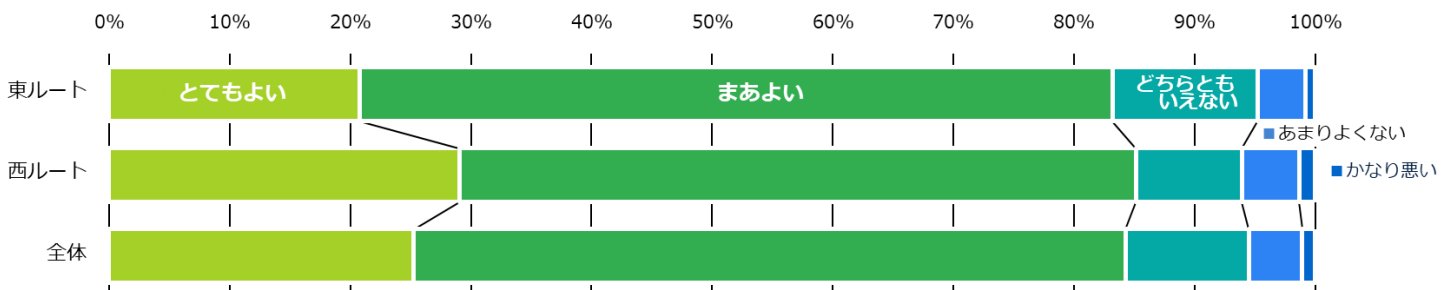
b 運行ダイヤ（時間帯・間隔）



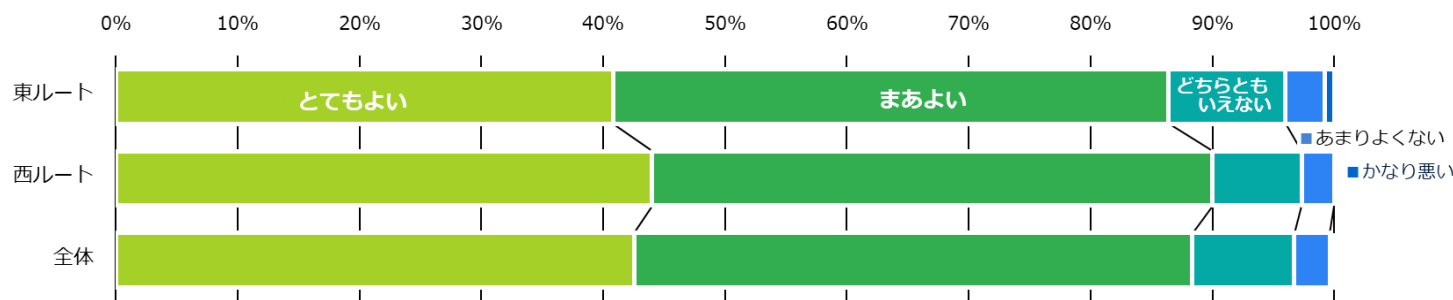
c 乗り心地（スピード・急停車など）



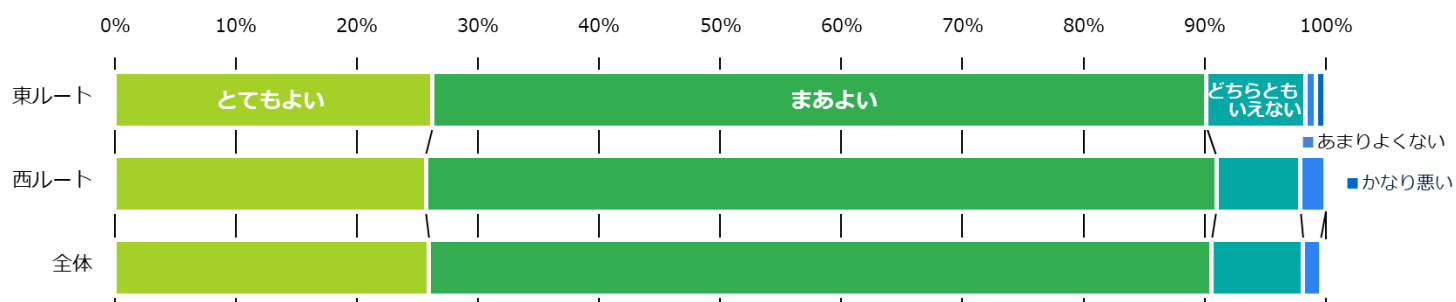
d 停留所（位置・間隔）



e 運転手の対応（接客・マナー）



f 全体



- ・「運行ダイヤ」以外は「とてもよい」「まあよい」を合わせると昨年度と同様に8割を超えている。
- ・「運行ダイヤ」は、他の項目と比べ「とてもよい」の回答が減少し1割を切っている。また、「あまりよくない」「かなり悪い」の回答が3割を超えている。
- ・「運転手の対応」については、昨年度同様に「とてもよい」「まあよい」を合わせると全体で約9割となっている。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

利用者は、「60歳」以上の利用が約6割でした。

職業については、「主婦（夫）」または「無職」の方が大部分を占めています。

学生の利用者数が昨年に比べて増加していますが、アンケート当日と学校行事が重なったことによる影響だと考えられます。

自ら運転できる交通手段を「持たない」「自転車」と答えた方が多く、加えて、利用頻度は「ほとんど毎日」、「週3～4回程度」、「週1～2回程度」と答えた方が約6割いることから、交通手段を持たない方や遠方へ出かける方にとってあさび一号は非常に欠かせないものとなっております。

利用理由については、「他に交通手段がないから」、「運賃が安く経済的だから」を多くの方が答えており、その利用目的は「通院」、「買い物・飲食」が多いこと、またお出かけとお帰りにはともに「あさび一号」を利用されている方が多いことから、あさび一号が主に高齢の方々の日常生活における重要な移動手段となっていると言えます。

バス運行に対しての税金の使われ方については、「今くらいが良い」という回答が約5割であり、「どちらかといえば使うべき」「もっと使うべき」が約4割であり税金を使うことに前向きな考えが多く見受けられました。利用料金をいくらまでなら払っても良いと考えているかについては、「100円」もしくは「200円」と回答した方がそれぞれ3～4割いました。この理由としては、周辺の市町村におけるバスの利用料金設定において、「100円」「200円」が基本的に設定されており、その価格設定がバス利用者の共通の認識となっていると考えられます。

市営バスの運行内容については、昨年と同様に「運行ダイヤ」の評価が低くなったものの、その他の項目については大きな変化は見られず、高い評価を得られています。